



ADVANCE OF
ティターンズの旗のもとに

ディターンスの旗のもとに

Vol. 5

CONTENTS

ハイブリッドナビ	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「置き下し」	—	—
ギャプランTR4「ハイスピードスライムリアーワークモデル」	—	—
【注】 電報局とビーマガジン(2007年1月)	9	9
「アドバンス オート」電報局デジタルシステム	—	—
「アドバンス オート」電報MSUシステム	1	1
■ネットワーク	—	—
EP1900E5 25(2007年05月 普通軌道)	—	12
【注】 電報局とビーマガジン(2006年7月)	—	—
EP1900E5 30(2007年06月 2次試験)電報局(普通軌道)	—	20
【注】 電報局とビーマガジン(2006年5月)	—	—
EP1900E5 40(2007年06月 2次試験)電報局(普通軌道)	—	26
【注】 電報局とビーマガジン(2006年5月)	—	—
EP1900E5 45(2007年06月 2次試験)電報局(普通軌道)	—	30
【注】 電報局とビーマガジン(2006年5月)	—	—
EP1900E5 55(2007年08月 シフト上り)	—	36
【注】 電報局とビーマガジン(2006年7月)	—	—
EP1900E5 6(2007年08月 ローズ 電報局(夜間線) 普通軌道)	—	42
【注】 電報局とビーマガジン(2006年6月)	—	—
EP1900E5 61(2007年08月 ローズ 電報局(夜間線) 普通軌道)	—	49
【注】 電報局とビーマガジン(2006年6月)	—	—
EP1900E5 7(2007年10月 TR 普通軌道)	—	50
【注】 電報局とビーマガジン(2006年12月)	—	—
EP1900E5 75(2007年11月 コンピュータ(夜間線) 普通軌道)	—	58
【注】 電報局とビーマガジン(2007年1月)	—	—
EP1900E5 76(2007年11月 コンピュータ(夜間線) 普通軌道)	—	64
【注】 電報局とビーマガジン(2007年1月)	—	—
■設定事項	—	—
ギャプランTR4「ハイスピード第二電報」	—	90
【注】 電報局とビーマガジン(2006年12月)	—	—
RX-107(ロゼット)	—	24
【注】 電報局とビーマガジン(2006年7月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)	—	30
【注】 電報局とビーマガジン(2006年5月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)	—	40
【注】 電報局とビーマガジン(2006年7月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「フルタイム」	—	64
【注】 電報局とビーマガジン(2006年12月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「フルタイム」	—	82
【注】 電報局とビーマガジン(2006年12月)	—	—
ギャプランTR4「ハイスピードスライムリアーワークモデル」	—	67
【注】 電報局とビーマガジン(2007年2月)	—	—
「ハイスピード電報局自動出庫」(ロード)	—	68
【注】 電報局とビーマガジン(2007年1月)	—	—
■設定事項	—	—
ギャプランTR4「ハイスピード第二電報」(1/144)	—	72
【注】 電報局とビーマガジン(2006年5月)	—	—
ギャプランTR4「アドバンス・ハイスピード」(1/144)	—	76
【注】 電報局とビーマガジン(2006年4月)	—	—
ギャプランTR4「ハイスピード」(ロード)「ハイスピード」(1/144)	—	78
【注】 電報局とビーマガジン(2006年4月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「MA(夜間線)」(1/144)	—	80
【注】 電報局とビーマガジン(2006年11月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「MA(夜間線)」(1/144)	—	84
【注】 電報局とビーマガジン(2006年5月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「1/144」	—	88
【注】 電報局とビーマガジン(2006年7月)	—	—
RX-107(ロゼット)(1/144)	—	90
【注】 電報局とビーマガジン(2006年12月)	—	—
ギャプランTR5(ファイバー)「フルタイム」(ロード)	—	84
【注】 電報局とビーマガジン(2007年2月)	—	—
ロード・ロード(ファイバー)「ロード」(1/144)	—	90
「ロード」(ロード)「ロード」(1/144)	—	90
「ロード」(ロード)「ロード」(1/144)	—	90
【注】 電報局とビーマガジン(2007年1月)	—	—
備考	—	—

電撃ホビーマガジンスペシャル

ADVANCE OF Z

アドバンス・オブ・Z ティーターズの旗のもとに

Vol 5

このムックは電撃ホビーマガジンにて好評連載中の『アド・バンス・オブ・Zーディターズの旗のもとに〜』の連載4回(2006年2月号)から54回(2007年2月号)までの記事を再録(一部再編集)したものです。そのため、文章中に時節にあっていないものが多少あります。あらかじめご了承ください。

A.O.Z前史からEPISODE 5まで、これを読めば「アドバンス・オブ・Z」と「Zガンダム」のつながりが把握できる完全エピソードガイド!!

BEFORE A.O.Z.

一年戦争終結～A.O.Z前の宇宙世紀

「アーズ給養」は清野秋樹および遠邦軍に与えた影響は大きく、ジョージ・マーン達に導かれた者には一種の脅威であることが両陣営に感じられ、早急な対策が求められた。そうした状況に後押しされ、ジャミート・ハヤーン准将が諸藩と土地所有の治安維持およびジョージ軍の残党狩りに主任務とする特殊部隊「ディターン」は結成された。ディターンの構成により遠邦軍の内側で、重要な位置を担うことになった。

り始めた1983年に事件は起こった。地球圏に潜伏しているジオン軍残党の中で最大の勢力を誇るデファ・フリードが法起「デファ・フリード」が勃発したのもこのころである。

首謀者であるエギーゼ・デュー・フリードによって何重にも張り巡らされた陰謀は、ことごとく連邦軍の裏をかき、遂には地球への「E.O.1」作戦を成功させた。

といふ人々が、二〇丁の両生計画（第二次大戦）
 一萬生計画）を完成、本格的な作戦の開始に乗り
 出した。二丁、連邦軍は、二〇〇八、一〇月、二
 丁連邦議會で考案された「萬生再降計画」に
 従ひ、大戦で失われた戦力の補充を行なふ
 つつ、地球各地で潜伏する少壮軍
 隊などとの會戦も解決すべくおこなふ。戦
 力の補充に連邦軍の機嫌を守るためにも、
 急務であつた人々の希望や悲願を飲み込む
 みながら、戦律復讐は、無事に進んだ。

宇留世紀0099年1月3日(猶太)
 ナリオン公の独立戦争、彼が言う「二年
 戦争」はその名のとおり、明かからば一
 年後の0088年1月1日、月面のラナ
 ダで行なわれた大戦協定によって事実上
 終結した。この大戦で人類の星の人口は
 半が失われ、地球周囲各地に大規模な
 残された戦後復興は困難が予想され、地
 球連邦政府の最優先事項は二つのサイ
 12.4.15のスペースコロニー群は健康
 状態であり、再び人が住居するようにす
 めの修復と再植は大きな事業であった。



コンペイトウ (U.C.0080~)

原形車によって占められたソロモンは、「コンペイト」と呼ぶ名を改められ道標の宇宙要素として運用されるようになる。0083年には4年ぶりに再編される機動戦術小隊の会合に準はれるが、その機體式をデラース・ブートに準拠し、改められるが改められ。

ソロモン(～U.C.0079)

ソロモンは、ジョン公使の学問奨励として蘭商同僚用の小船を建造して模倣された。一年戦争の最中に15隻間に焼失し、水雷防衛ラインの一角を削っていた。大規模に洋州艦によって占領され、ア・バオア・クー島の初めと終りに利用された。

A.O.Z. キャラクター紹介 CHARACTERS

エウーゴ



カプリエル・ソング

一年戦争からのベテランパイロット、彼等はLB圏域を中心に海軍軍に對する航空攻撃を行っており、T3部隊と空戦を繰り返している。同志を救うためにエーゴへの襲撃という重大の決断をする。



カサツ・ライオン

ガブリエル・ソラ大尉とは一年戦争からの親友である。ジオン軍機動隊をソラとともに指揮していた。T3部隊との戦いで片足を失うが、ソラと行動を共にしエゥーゴへと参戦する。



オートロー・ペデルセン

ビート・シエルトン

ヘンドリックス・ネス



ウエス・マッファイ

「ラジエーター」の部品は、小田原の「ベアランハイム」で買い揃え、造船所は同所の方を要請すると、船下からの修理も同じく彼らに依頼する。大工は、修理費ではないが、手当てで、船料は、大工



オードリー・ヘプバーン

[illegible]

■ T3 読解

「ティターンズ・テスト・チーム」通称「T3部隊」

は、ディターンズ用の次世代機開発のために設立されたテスト屋である。試作・実験MSを機体設計や実験において運用し、機体開発のためのデータ収集をすることを目的としている。最新MSが配備されると言えれば聞こえはいいが、実際は最新テストも不十分な試作機を真似て使用しなけければならぬ危険と隣り合わせの屋敷であった。

ティターンズT3部隊



エリテール・ハート

カール・マックスバ

U.C.0085.8~
EPISODE 3

■活弁化する反政府運動

エリルは、カンタム・シティのハンズ・バイ
橋のバローとなった。金銀のガジェタイ
ロケットとなった。二、三、30バレーン
水面下での反政府運動が活発化し、ジ
オ軍機活動も頻発した。哨戒機機中
のプラトーン小隊は、ジオ軍機と遭
遇し戦闘となる。しかし、ジオ軍機
がその間に、マープル隊長のヘリを化
シを喰ひてしまふのだ。

ハインに代わりアマ・フィー隊長には、ロ
ズ・バールの理窟の機体「試作シグマ」を
ミズハルが与えられた。キハルは可変機
「メーバール」の機体「試作シグマ」を
機を備えた初のM.A.と、キハルとより新
たな威力を手に入れた。このラウオタ小隊は
再び進出したジオン軍艦隊との戦闘に勝利
する。そして0085年10月、物語を終えた
イスズルが3部隊の母艦をアマスウェー
と戻ってきた。機体は型式番号をRM-127
に改め、機体姿勢がベータ化となった。

T3部隊が使用したMSたち
(初出:EPISODE 3)



NRx-044[R] 試作アッシー
TR-3[キハール]

可変機構のテスト用に製作された機体。ベースとなったアッシューは、地上版の可変MAとして開発されていたが、まだ未完成だったため本ハールは宇宙用機の機体となった。

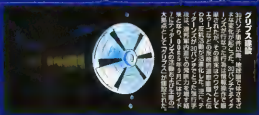
RX-121-1 ガンダムTR-1
[ヘイズル改]

RX-121-1 ガンダムTR-1
[ヘイズル改]

ジオン機體売との戦いで大勝したヘイズルをセ
ベイトの任務本拠で修理・整備した機體。機體
内に改造が施えられ性能が向上している。型番
が「RX-21-1」へと改められた。

RX-121-2 ガンダムTR-1
[ヘイズル2号機]

アスランに搭載されていたパーツ取りのヘイズル・機械にトライ・ブラスター・ユニットを移植した機体の機体。これを機に「RX-121-2」の型式番号が与えられた。



クリスス

[illegible]

3. 藤田が「リリィ」大に登場したキハトと黒眼、ブラックオパール小珠によって顔の両方MA死した。マリーファイは顔も近くそれを誤りとは知した。

U.C.0085.10
EPISODE 4

■地上ミツシヨニーエウーロの屋上

06年5月19日、エリアルがアジアン・パシフィック・ホールで地上放送のテストのため、力りのハルムへ基地へ入った。同じく大イラン突入を主眼とする「E-1」や「デュー・エス」のテストと大規模な降下とてく、エリアルを出発したのだ。降下ポイントへ向うエリアルは、タイミングをきく地上のジョージア軍機と連携してし。苦戦するエリアルだ。だが、ティーターズに反感を持つバルジューの士官は、援軍を出そうとはしなかった。無事に大規模降下に成功させたカルの「E-1」や「デュー・エス」に助けを求め、その後はジョージア軍機の要請に成功する。その後、中へと戻ったエリアルのところに、マリー・隊長の取次が来た。ラナナ大尉が赴任し、しかし、ラナナ大尉は社任間もなくアスワンを説出、機体ごとエウロペ航空で、というエリアルに「エウロピスト」ではない、ティーターズとエウロピスト無関係に、に残っている。

T3部隊が使用したMSたち
(初出:EPISODE 4)



**NRX-044 試作アッシャー
TR-3[キハール]**

トヨタは輸入車モジュールとして開発されたT14(ダンディライオン)は、大気圏突入段階-M8形態-M9形態と状況に合わせて3つの形態への形状移行を行うことになっている。

RX-107 [ロゼット]



RX-107 [ロゼット]

FX-107(ロゼット)は、AE社がFM5-106ハイブリッドの後継機として開発した自作MSである。そのスペックの強さをディターンシに表わされ、T8-4のコアMSとして登場した。



RMS-117
ガルバルディβ高機動型

ガルバルディは、一年戦争末期にジオン軍が捕獲していた当時の最新鋭機MS-17ガルバルディαを、野戦修理廠が修復して改修を施し完成させたMSである。



陳年大酒であった。

ハルツェン
エリアルにたどり着く
ズの地上でストのベ
て動向していたハ
地は、エフリが中
する道は道の地上
エフリが本陣は一
にのオン地上で
被を撃っていたハ
00と00とを
00と00とを



M国に生息する大蛇が突入を警戒して、Tは距離を離れ、逃げた。Tは、大蛇が突入を警戒して、逃げた。Tは、大蛇が突入を警戒して、逃げた。

『A.O.Z』全登場MSリスト

Episode 1からEpisode 5まで、『A.O.Z』に登場した全MSを
そのバリエーション(プランニングのみのものを含む)まで一挙に紹介!!

宇宙世紀0088年11月にT3部隊がコンバットを離れるまでに運用していた機体の中で、『A.O.Z』本編に登場した機体は、そのバリエーションを含むと実に30機を超える。T3部隊がテストチームであるとはいえ、部隊からわずか4年でこれほどの機体を運用した部隊は、③1宇宙世紀の歴史の中でも稀有な例といえるに違いない。ここでは、そんな彼らが運用した機体リストに加え、②③の前に立ちあがった敵MSを一挙に紹介しておこう。

カテゴリ	型式番号	機体名	解説
▼ ティターンズ			
TR-1	RX-121	ガンダムTR-1[ヘイズル]	初代ヘイズルの基本型
	RX-121	ガンダムTR-1[ヘイズル]強化形態	シールド・ブースターを両腕に装備
	RX-121	ガンダムTR-1[ヘイズル]フルアーマー形態	増加装甲を装備
	RX-121	ガンダムTR-1[ヘイズル]高機動形態	シールド・ブースターを3枚装備
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]	ヘイズル改の基本型
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]実験試作カラー	ディターンズカラーに塗装されたヘイズル改
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]後継形態	シールド・ブースターを両腕に装備
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]高機動形態	シールド・ブースターを3枚装備
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]サブ・アーム・ユニット装備	サブ・アーム・ユニットを装備
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]イカロス・ユニット試作プラン	飛行ユニット装備 ※計画のみ
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]イカロス ユニット装備	飛行ユニット装備
	RX-121-1	ガンダムTR-1[ヘイズル改]スナイパー 装備	長距離射撃用装備
	RX-121-2	ガンダムTR-1[ヘイズル改]2号機/アーリータイプ	初期タイプのヘイズル2号機
	RX-121-2	ガンダムTR-1[ヘイズル改]2号機	ヘイズル2号機の基本型
	RX-121-2	ガンダムTR-1[ヘイズル改]高機動仕様	バックパックにシールド・ブースターを2枚装備 ※計画のみ
	RX-121-2A	ガンダムTR-1[アドバンスド・ヘイズル]	各種追加装備を施したアドバンスド形態
	RX-121-2	ガンダムTR-1[ヘイズル・アウスラ]	脱出ポッド[ブリムローズ]を装備
	RX-121-2	ガンダムTR-1[ヘイズル・アウスラ]ガンディック・アーム・ユニット装備	ギガンディック・アーム・ユニット装備 ※計画のみ
TR-2	RX-121-1+FF-X29A	ガンダムTR-1[ヘイズル・レー]	[フルド]を装備
	RX-121-1+FF-X29A×2	ガンダムTR-1[ヘイズル・レー]フルアーマー装備	[ヘイズル・レー]にサブ・アーム・ユニットなどを装備
	RX-121-1+FF-X29A×2	ガンダムTR-1[ヘイズル・レー]第二形態	[フルド]を2機装備
TR-3	YRMS-106+BL-85X	ガンダムTR-1[ヘイズル・レー]第二形態 ブースター装備 "フルーザーモード"	[ヘイズル・レー]第二形態にブースターを装備
	YRMS-106+BL-85X	バイザックTR-2[ビグウィング]	長距離戦闘用の試験メカ
TR-4	NRX-044[R]	試作アッシュマー TR-3[キハール]	可変MAの実験機。宇宙仕様
	NRX-044	試作アッシュマー TR-3[キハール]重力下仕様	可変MAの実験機。重力下仕様
TR-5	RX-107	TR-4[ダンディライアン]モビルアーマー形態	大気圏突入用モジュールの実験機。MA形態
	RX-107	TR-4[ダンディライアン]大気圏突入形態	大気圏突入用モジュールの実験機。大気圏突入形態
	RX-107	TR-4[ダンディライアン]MS形態	大気圏突入用モジュールの実験機。MS形態
RGM-79	GRX-005	ギャブランTR-5[ファイバー]MA形態	超音速使用用の実験機。MA形態
	ORX-005	ギャブランTR-5[ファイバー]MS形態	超音速使用用の実験機。MS形態
	ORX-005	ギャブランTR-5[ファイバー]	TR-5[ファイバー]の素体となる機体
RMS-106	RGM-79G	ジム・クワエリ[ヘイズル・ヘッド]	TR-1[ヘイズル]の基になった機体
	RGM-79CR	ジム改高機動型	ジム改の性能向上実験機
	RGM-79SR	ジム・スナイパーⅡ	ジム改の長距離射撃専用実験機
	RGM-79SR	ジム・スナイパーⅡ高機動仕様	高機動バックパックを装備
	RGM-79SR	ジム・スナイパーⅡキャノン・バック装備	中距離支援用のキャノン・バックを装備
	RGM-79EW	EWACジム	早期警戒用のレドームを装備
RX-107	YRMS-106	バイザック先行量産型	バイザックの先行量産機
	YRMS-106C	バイザック・キャノン	中距離支援用のキャノン・バックを装備
	YRMS-106C	バイザック・キャノン増加装甲装備型	機体増加装甲を装備
RMS-117	RX-107	[ロゼット]	TR-4[ダンディライアン]の素体MS
	RX-107	[ロゼット]強化機動形態	機動用の高機動ホバー・ユニットを装備
	RX-107	[ロゼット]強化機動形態(試作プラン)	機動用の高機動ホバー・ユニットを装備 ※計画のみ
RMS-117	RMS-117	ガルバリルディβ高機動型	バックパックを改造
	FF-X29A	Gバグ[フルド]	TRシリーズ用の支援メカ
	—	緊急脱出ポッド[ブリムローズ]	TR-1[ヘイズル]用の脱出ポッド
◆ ジオン軍機			
MS-06	MS-06F	ザクⅡ[シュトゥッツナー]	ザクⅡの部隊改修機
MS-09	MS-09R	リック・ドム[シュトゥッツナー]	リック・ドムの部隊改修機
MS-14	MS-14A	ゲルグ[シュトゥッツナー]	ゲルグの部隊改修機
◆ エンゲージ			
MSA-003	MSA-003	ネモ 専用ビーム・カンノン装備	ビーム・カンノン装備
MSA-099	MSA-099	リック・ディアス[シュトゥッツナー]	リック・ディアスの性能向上機



出撃したとたんに、オードリはエリアルドが居ていたことを察知した。ヘイズルも身振は、ただジム・クラエルにスラスターを増強しただけではない。とんでもないじしを隠した。

しかも、今回の改良により、開閉速度はスラスターの増強パーツが組み込まれた、機体のアーチャーにはサブアームユニットが搭載されている。さらに、背部のブースターボルトには、シングルブースターを二基取り付けることができる。これはガルバルディで実験されたものだ。

コクサックという二重従来との差を感じるのは、演劇のセンサー・ユウツだ。ジム・スナイパー軍のデータをもとに新たに作られたあのセンサーはロン・フレンチの射撃を可能にしている。

つまり、強襲や襲撃の任務だけでなく、後方支援にも回れるというわけだ。

オーディリーは、センサー・ユニットによって境界が広がり、増強された各種のスラスターによって行動能力が広がり、たのをはっきりと実感していた。

これは、もう旧世代のものスラストではないと、オーディリーは思った。

アムステルダムとイズミールは同じ軌道線上にある。地球を回る衛星軌道だ。その向こうからフレッドが現れた。強化されたセンサーがいち早くそれをキャッチする。

敵は長距離砲のロケットミサイルを連射している。一方、オードリーは通常のビームライフルだ。戦力の差を少しでも埋めようという決意だ。砲が撃てるときには、すでにオードリーは回避行動に移っていた。そのために巨大なハンマーで殴られたように感じた。

「すむに加速……」

おちめはもうラスターがセシチイブで強力だ、もともとの機体の反応速度と増強パーツがアンバラシタ。それが、エリアルドが置っていた「じやじやん」の理由だ。

「Oさんで新しくなってるんだから、果てこなしでみせる」

オーディーは、機体の能力を最大限に發揮しようとして、エネルギーパックの交換にサブアーマーも使ってしまった。

その結果、くたくたに疲れ果てていた。ついに推進力にものまいたフルドのビーム・キャノンに殺されてしまった。

「あなたの言ったとおりだ。モビルスーツだけが兵

「答えてあげよう」

「オドリーはへん」とうた

「何も言わないでほしい。俺は俺さだけ太いへん
あの……」

オドリーはフルトとの機體戦の記録を何度も見返していた。その結果、動きすぎたところばかりを、腕力を手にして「ススター」を使いすぎたのだ。そんなことをすれば、どんな機体だって、ジスト機體のよに制御を失ってしまう。

すべての乗り物は、常に「バースト」のスイッチを使い、切っているわけではいい。ヘイズルのOZの強力な機體パワーの折り合いをつけなくては、水世代のモビルスーツに有利な戦いを展開することはできない。

オドリーはまた確信していた。

艦内に無断で乗り込んだオドリーに出撃命令が出された。

モビルスーツデッキに直行し、オドリーは機體に

た。アルビスト・ヘイズルの機體はすでに次の戦闘に入っていた。フルトと機體をまたいで運用の要領を伝えたヘイズルは機體をまたいで運用にうつった。フルトは機體したヘイズル、あるいは「オドリー」ヘイズルは「ヘイズル」と呼ばれてきたことも決まっていた。

オドリーはメガラのジストマシンに乗りこん

「フルトをよけよう」

「このまま出よう。艦長の命令をなすよ」

「まだ、機體もしていないよ」

「又何をとまげに言っているんだ」

オドリーは正打をしてフルトに飛び込んだ。すでにジスト・ヘイズルからの通信が入る。

「機體はジスト・ヘイズル」

「フルトからの通信は？」

「機體は、機體のよ機體のよ、片付けなさいとを。な

「フルトはヘイズルだ」

「ヘイズルは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」

「フルトは、まだ機體もしていないですよ」





**RX-121-1+FF-X29A
ガンダムTR-1
[ヘイズル・ラー]
第二形態**

ガンダムTR-1 [ヘイズル・ラー] 第二形態は、ヘイズルにGパーツ[フルド]を2機装着した形態である。ヘイズルの強化パーツとして開発されたフルドは、バックパック部のジョイントだけでなく、腰部のサイドアーマー&マルチウェポンラッチにも搭載できる設計となっている。バインダー状のウイング・ユニットは、バックパック部の2枚を推進用のスラスタ・ウイング・ユニットに、腰部の2枚を武装の保持・制御用のクロー・ウイング・ユニットとして、上下で機能を統一し、計4枚装備される。これにより、機体の稼働効率は大規模に高められる。

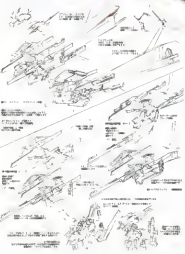
フルドのノーズ・センサー・ユニットは、シールド・ブースター用の展開翼としても利用可能である。これにより2枚のシールド・ブースターを片手で収納できるよになる。



4枚のウイング・ユニットは「翼まげ」としての用途もあり、展開したウイング・ユニットは、切り離して機体移動を補助することができる。



Gパーツ[フルド]は、それ自体が独立した支援メカとして戦闘機のように運用することが可能であるが、2機を接続することでさらに機能を強化することもできる。接続・拡張が容易な理由は、フルドを構成する各々のパーツが後面にユニット化され、接続部にムーバブル・フレーム技術を採用したエネルギー・サプライ・システムを利用しているためである。2機が合体したフルドは、MAに近い機体特性を発揮する。

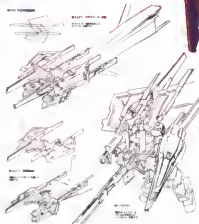


ヘイズルのオプションパーツ群は、すでに強化パーツの域を越え、ヘイズルを中核とした一つの完成された兵器体系を形成しつつあると見える。

6パーツ(フルド)のエンブレム。2羽のウサギが噛み合う姿は、ヘイズとフルドが合体した状態と、フルドが2機設置可能なことを暗示した前導であった



巨大なブースターによって一変したのではなくと判別することが出来るが、機体のシルエットが変化している。



ザブラン用ブースターを装備したヘイズレラーの機体特長はMSの範ちゅうを逸脱したもので、運用用途はMAに近くなる。



RX-121-1+FF-X29A ガンダムTR-1[ヘイズル・ラー] 第二形態 ブースター装備

本機はガンダムTR-1[ヘイズル・ラー]第二形態に、ORX-005ギャプラン用のブースターを装着した状態である。ギャプラン用ブースター、4枚のウィング・ユニット、2枚のシールド・ブースターの推力方向をすべて一方に傾えることで、絶大な推進力を得ることができる。MSとしての汎用戦闘能力よりも、加速性に重きを置いた巡航形態でも言うべき仕様なのである。

ギャプラン用ブースターによって、長い航続距離と強大な加速力を手に入れたヘイズル・ラーは、通常では想定不可能な距離からの単独侵襲が可能となった。その結果、加速力を活かした一撃離脱戦や、敵勢力圏への突如侵襲など、特殊な作戦が実行できるようになっている。



STAFF

原作：富野由悠季・矢立肇
 ストーリー：今野 敏
 メカデザイン：藤岡謙典
 キャラクターデザイン：野田卓也
 マーキングデザイン：藤岡謙典&ベッパーショップ
 設定協力：片岡大樹
 企画：電撃ホビーマガジン編集部
 企画協力・設定：サンライズ

©劇場エージェンシー・サンライズ

EPISODE 5.3

■カミヤナガ

2007年1月

地球の中に都市が隠れていた。今の地球ではほとんど聞かれない古いイデオロギイ。
 エアリーの支援組織であるラバは、地球上のさまざまな都市に秘密の基地を持っていた。このカミヤナガは都市のひとつだ。

ここは、古い火山施設の跡地に、地上打撃の推された施設設置や輸出産物が納められたまま放置されている。

だが、古い産業を継いだ技術者の手には近代的な機材が取り込まれていた。秘密地にはモビルスーツが眠っている。

エアリーから支給された機体もあれば、アタリーズとの戦闘で捕獲した機体もある。待機島で部隊中のアタリーもじきにそこに集くはずだった。

カプリエは、元先にカミヤナガ基地に配属されたアタリーの部隊を待つことにしていた。居住区は地下にあり、カプリエはサイレンの中を訓練まで駆けよった。

「初撃だ」

カプリエは、近づくいたカマラに告げた。

「空襲です。タイタースのモビルスーツです」

「モビルスーツは空襲です」

スーパースターに集まるアタリー

カプリエは、地球土まじりスーツが空中から襲撃してくるのを信じられなかった。カプリエにとて、モビルスーツは無量量状の戦艦士で使用する兵器だ。

量りた練れた地球の土で使用するとは無理がある。ましてや地球の大型内蔵角分など考えたこともなかった。もともとモビルスーツは土まじりには設計されていない。それでも、最終ペーのペーなどの支援機材を使用して空中戦や空間戦も可能になった。

果然、大型内蔵の飛行ができる機体も作られるようになった。ソラに生えられアタリーもその一つだ。時代は変わるのだ。

「祝も出る」

カマラが言った。

「アタリーはまた飛んでいるよ」

「いつまで経っても飛んでいるよ」

「機体はいいんだけど、戦闘で消耗した機体はかきさらでなくなっちゃう」

「出られる機体はないのや」

で敵々原から接近してくるのがある。
「機連ミヤルを……」
ガブリエは思わず主アーに押し出された上空を上げていく。

0085年6月

■北東：バダ基地

エウ「ゴが南東のジャブローを攻撃したのは、約半月前のことだ。連邦軍はその計画を早くから察知しており、ジャブローの攻撃を決めた。ジャブローの機連は多くはフリカに移動されたが一部北米などにも分散した。」

ネバダ基地もその一つ。

エリアルドたち3人のアーは、それぞれ異なるタイプの専用実験機を携えた出張を告げられた。マラーがファイバーに乗り、エリアルドとカールはファイバーに搭載されたペイロードとロケットで乗り込む。その状態で、ネバダ基地が機連ミヤルのように機連ロケットで打ち出すのだ。まさに無敵な目標はカラムランにある。バダ基地だ。

すでにファイバーの打ち上げ実験は受けていたエリアルドは三人はコウラント機をシートにしてしかりと臨戦していた。

「これを……撃つを繰り返して本拠地外に出る。さしからず突入して敵の機連を破壊する」

マラーの声を聞くと……

「敵の制空権を壊したらが展開して隊長を捕縛する……すべしと指示です」

カールの声を聞いた。

「こちら了解です」

エリアルドは言だけこえた。カールはかつてデザインライオンと気動突入機、すでに敵陣に参加しなくてはならぬ。だが、エリアルドはまだ未経験だった。

「軍力を試す切るときに、すまじいながらも、昔の非正規飛行士は身体機軸とことごと」

マラーが言った。「機連ロケット2台の機連たちには、言葉は意味が通じない」

「カラムラン機連が機連だ。よす味方でおけ」

打ち上げのカウントダウンというのは、心臓によくない。エリアルドはそんなことを考える。い

機連ロケットに点火された。機連シートに押しつけられる。次の瞬間、巨大な力も押しつけられた。轟然とすさまじい体の中身が全開に飛び出した。すうと体に染みわたる。重たさを感じる。するとそこはもう無重力の世界だった。主アーに半世の夢を喚び出している。それだけの間、やがてファイバーが目的地まで進めたのかわかる。





本気の態勢に包まれた。なまじり機体強度が上昇する。さらに機体はますます熱れた。隠しながら走っているのに、エリアルドは、そのまなかに閉じ込められている状態だ。

頭撞きミサイルに人間が乗るわけじゃないな。

それがリアルトの正真正正な機体だ。

やがてフラクアウトが解除された。ネバダ基地からの通信が入る。

「現在、カラバのカムフラージュ基地では、攻撃部隊の第二派とカラバ基地守衛隊との戦闘状態にある。またさらに加圧せよ」

「了解」

「マイフーがどええ」

エリアルドは作戦の手順を頭の中で繰り返ししていた。やがてマイフーも言う。

「エリアルド、カルビにも、敵の制空権は、おまたえ。おまな左右に閉じこめ、いいか。地球の重力を甘く見るな」

「エリアルドは、シールド・アースター・システム・スラスターを全開して、降参をかけた。だが、なかなか高度は落ちない。機体はますます近づく」

機体の衝撃はますます大きくなった。エリアルドの機体が揺れ、しなやかなが、不思議なくらいだ。エリアルドは、体びらばらになんかを感じた。

だが、衝撃に苦しんでいる訳などない。すでにファイバーの機体は勢いを入れてはならない。エリアルドは機体を急直し、周囲の状況を確認しようとした。第二派の攻撃部隊とカラバの守衛隊の戦いは、機体から見ると、エリアルドはミサイルを撃ちまくった。

上空から高速でファイバーが落下してくる。機体の直前にファイバーはミサイルの形へと変形した。すさまじい機体で、土塵が舞い上がる。

ファイバーは、大気中のミサイルで空を破壊を破壊した。もう一つとした土塵の中、ファイバーは暴走した。機体は急直に傾き、機は機を始めた。運用実験及び閉圧作戦は成功を収めた。

EPISODE END

NEXT
EPISODE
A.O.Z UC 0088
「メティアの戦い」



熱核ジェット・エンジンは大気を取り込み、それを爆発として推力を得ているため、基本的に直進しかできない（航空機と同じ原理である）。そのため機速性は悪いが、急激な方向転換などの小回りが利かないというデメリットがある。



当初はホバリング・スカート・ユニットに小型化したミノフスキー・クラフトを組み込む計画もあったが、ユニットの小型化に失敗したため廃棄は見送られた。

RX-107 [ロゼット] 強化陸戦形態

RX-107 [ロゼット]の強化陸戦形態は、マーフィー小隊がカラバのカムチャッカ基地を強襲した際に使用したRX-107の地上戦用形態である。RX-107に地上での高速戦闘を可能にするためのオプションパーツを装備した状態で、高速ホバリング移動が可能となっている。オプションパーツのホバリング・スカート・ユニットには、強力な熱核ジェット・エンジンが搭載されており、そこから得られる推力で機体を浮かせて移動する。熱核ジェットは、推進剤を消費して推力を得る熱核ロケットと違い、大気を媒体として推力を得るため、推進剤の消費が少なく戦闘行動時間が長くなるのがメリットといえる。



RX-107 [ロゼット] 強化陸戦形態 (試作プラン)

実戦型の強化陸戦形態
パーツの開発以前に計画
されていた物。こちらは熱
核ジェット・エンジンではなく、
熱核ロケット・エンジンのみによ
る高速ホバー移動を主眼に
置いたプランであった。しかし、
計画が熱核ジェット・エンジン
搭載型にシフトしてしまったた
め、結局はペーパープランの
みで実際のパーツが製作され
ることはなく
終わった
まった。

強化陸戦形態のパー
ツは、本来「飛行」を主
眼に開発されたパーツ
であった。しかし、充分
な出力特性が得られな
かったため、駆動用バー
ユニットへと適用用途
がシフトされた。

強化陸戦形態の試作プラン。機体は「飛行」を主眼に開発されたパーツであった。

強化陸戦形態の試作プラン。機体は「飛行」を主眼に開発されたパーツであった。

強化陸戦形態の試作プラン。機体は「飛行」を主眼に開発されたパーツであった。

強化陸戦形態の試作プラン。機体は「飛行」を主眼に開発されたパーツであった。

強化陸戦形態の試作プラン。機体は「飛行」を主眼に開発されたパーツであった。

STAFF

原作：富野由悠季・矢立肇

ストーリー：今野 敏

メカデザイン：藤岡謙機

キャラクターデザイン：斎藤卓也

マーキングデザイン：高岡謙機&ベッパーストップ

設定協力：片岡大輔

企画：電撃ホビーマガジン編集部

企画協力・設定：サンライズ

©新選エージェンシー・サンライズ

「……え、アムロ、口を封鎖は市民させるようになってから半世紀過ぎたが新選選(UC) 0078、
地球からもっとも離れたスペースコロニーザイロ3がジオン公園を名乗り
地球連邦に対して独立戦争を仕掛けた。
後に一年戦争と呼ばれるこの戦いは、地球連邦の勝利に終わった。
しかし、ジオン軍の残党は各地に潜み連邦に対する抵抗活動を行ったのである。
UC.0083年、地球連邦軍はこれらのジオン残党の討伐を目的とする特殊部隊ティターンズを設立。
地球圏の治安維持を図った……」

ついに敵艦隊も完結！ 『機動戦士Ζガンダム』よりスピントリしたオリジナルストーリー。
マーフィーVSソラ再び！ そしてキャアランVSアッシュマー!!

EPISODE 5.4

0087年6月

■カムチャッカ

「何なの、あれは……」

ガブリエルウラは、リザのミスターを見つめて

思わずつぶやいてた。

機動ミサイルだと思っていたものが、射撃機カバ
ーを外しから空を飛んで飛来した二機のアッシュ
ーを放出した。機はアッシューに吸い寄せられ、ア
ッシャーはカバースーツに塗られていた。二機は間
違なくミサイルだ。そして、その二機を放出
した本体は、ビザパーに見えた。

機動ミサイルのようなくさねをまとって、大気
圏外から飛来した機、まさに機動だ。ミサイル
マーキーとミサイルスーツをミサイルのように撃ち込ん
でやる、誰の手も想像しなかったことだ。

カラバカンダムサカガ島島の途中に、驚く意外な
出現に艦隊を揺るがす足音を聞いた。カラバの中心
メンバには、至近戦争を戦った経験をもとに聞
く、アッシューを支援するといふつもりだ。
だが、いかにせん戦争が果てない限り、戦況が不利
に傾くとすれば見なくてはならない。

「ううなるを」

ガブリエルは無言を避けて、戦術機に呼びかけ
た。「機動ミサイルは、機動ミサイルは……」
口だけでいい。ガブリエルがミサイルを出した
ければならぬ。機動ミサイルが撃ち込んだ
大型ミサイルのせい、問題はもうひとつと機や
士隊が立ちこめいる。

それが機動の役目をしてくれた。ガブリエルは
それを利用して、ミサイルを砲に撃たない。たれ
逃した勢力が前進を鈍化するには、強大な火力
と運用が必要だ。

ビームライフルとミサイルのスペクタクルは、大抵に
は十分な。だが、機動ミサイルは、ガブリ
エルが前に出なければ、逃げ難い。機動ミサイルは、
ええとほしきではない。

機動ミサイルは、ミサイル。空中でミサイルス
ーツ形態に変身した。

ティターンズは、なんでものを作った……

そのとき、リザに、ガンダムがいる。ガブリエルは、
その機動ミサイルに、血を流すのを感じた。

機動のカンダムは、たまたまミサイルではない。

その姿は、一年戦争以来の形態であり、機動の機
動だ。そして、ガブリエルは、アッシュー機動として
は、機動と機動の対決だ。



「何なのだ、あれは……」

ガブリエル・ゾラはジムⅡのモニターを見つめて
思わずつぶやいていた。

電撃ホビーマガジン & サンライズ 共同プロジェクト

ADVANCE OF
ディターンの旗のもとに

新型のモビルアーマーもたしかに脅威だ。だがガブリエルにとりては、ガンダムはそれ以上に脅威を存在だった。

カブリ工業株式会社

ライフルを撃つ。ティターンズのガンダムを倒したとなれば、カラバの連中の士気も上がるだろう。突然ティターンズ・カララのミラサグが、半ば破壊された基地に突入してきた。基地の壁には後退したカラバのシグマやキミたちが見られている。

ティターニス・カプリーのミラサイは、通常のミラサ
イとは少しばかり形状が異なっていた。何か特殊
な用途があるのかもしれないと、ガブリエルは直
感的に思った。

「行かせるが」

ガブリエルは、ティターンズ・カマーのすうざいに、ライフルの銃口を向けた。トリガーを引く。だが、ビームは発射されなかった。

ビームは発射されなかった。

「くそ、エミルキーンが切れたか……」
弾切れのガブリエル機は、敵をう見れば標的も
同様だった。ガンダムがライフルを向けるのが見え
た。

こんなときまで、待ち死にが……

できれば、宇宙で眠って死にたかった。それがスベースワイドの眠死の弊に機だ。

ベアフッド下の販売の売上に機軸を

ガブリエルが賢性を決めたようにした瞬間、操からヒームやミサイルが発射された。今度は、ガンダムと新型が撤退する。カラバのジムIIやネモたちがガブリエルに誘って巻き退けに出たのだ。

「ソラ大尉、ライフルのエネルギー切れですね。」

「ああ、弾切れだ、おい、俺はもう大尉なんかにどきない」

「引いてください。僕は我々に任せます……」
「すまん」

一書主人

ゾラは後退した。カラバのモビルスーツをディエー
ーンスたちの攻防は再び膠着状態になったように
思えた。

基礎にはライフルがある。だが、基礎の二層が破壊されて、すでに中に立ち入ることは出来ずうになつた。ライフルがほしければ瓦礫を掘り出さなければならぬ。

with Green)

「主人の御行儀」

だが、それはむかし聞いたこと、味方は敵も

「テ、ヤ、ス」との歌して手二和た、形意な歌に

奥の第三室にたが三様に布方がおとすスベ、ム



にものをお願いしてカラバのモビルスーツたちを圧倒して帰った。

瓦礫をつぶて代わりにして下も敷つてやる。

クリートの置きがよかったです。

そのとき、通信が入った。

「ガブリエル・ソラ。ライフルよりいいものを持ってきてたぞ」

聞いたことのある声だ。街場の秘密基地で、ガブリエルにからんだところのある元地球連邦軍パイロットだった。

ガブリエルは、王者を見送った。はるか上空から彼を近づいてくる。巨大モードにする。

[459]

「待たせたな。おまえのツツミマード。壁け取れ」

「二時方面から、新手だ」カールの声でした。「あれ、アジターじゃないか、味方じゃないのか……」

エリフルでもその模様の動きを察知していた。すぐに戦闘に参加しようとはせずに、敵陣の後方に潜匿したように見えた。

「海賊するな」「マーライオン隊長の隊がする。」「あいつは味方の識別信号を出していない」

「なに……。敵はもう防壁の方ですよ」

ヘアスとした試作改造機だが、クンティライアンのコ
ア・ユナト仕様なので、コンペイトウ方面隊では「ロ

カールの口ゼットが推進力にものゝけて前に

「それなら、10000歳まで生きて、
出上ることする。その機嫌を捉えるように、千比呂ア
ーマー・モードのデジランマーが飛び出した。」

マイフィーの声が出た。ファイバーが両側面に装着された文ラスターから高圧ガスが噴射して、柱々と燃

空中で、アツシマーとファイバーがすれ違う。その

御聖達がエリアルドのヘイズルにも伝わってきた。
エリアルドは、基地の側のジムIIとネモを牽制し

ていた。アジシマーは、マーフィー隊長のマイバーと空中戦をやるものと思っていた。

だが、アッシャーが突然モビルスーツ形態に変化した。

「……」

エリアルドは後ろを取られた形になった。空中からファイバースコープを攻撃する。だが、アッシュはそれを巧みに避けつつ、ヘイズルを倒して来た。

MS状態とはいえ、ファイバーのシールドはMSのそれを選択している。巨大なバインダーが邪魔にならない地上での歩行移動はできないに等しい。また、機体の耐重量が跳ね上がっているのだ。極限状態の強度的にも歩行は等しい。

複合鉄棒バインダーには、ビーム共振駆動用の1フィールド・ジェネレーター、高弾力鋼材製の回転軸、そして推進器として熱噴口ケット・エンジンが内蔵されている。いうなれば、複合鉄棒バインダーはスチール・ブースターの機能を強化したような装置ということができる。

複合粘着バインダーの分解原理。分解時の複雑な内部構造などが写る。1. フォールド・ジュネレーターは、二つの円筒ユニットによって構成されており、分解するとヒム・ハリアの機能は失われてしまう。

胸部に設置されている二つのカプセル状の物体は、遠隔作戦において目標検知用に設置された高感度の新鋭探知器である。近距離から目標を探知することで、正確な位置と向きを目標に照準を定めることができる。

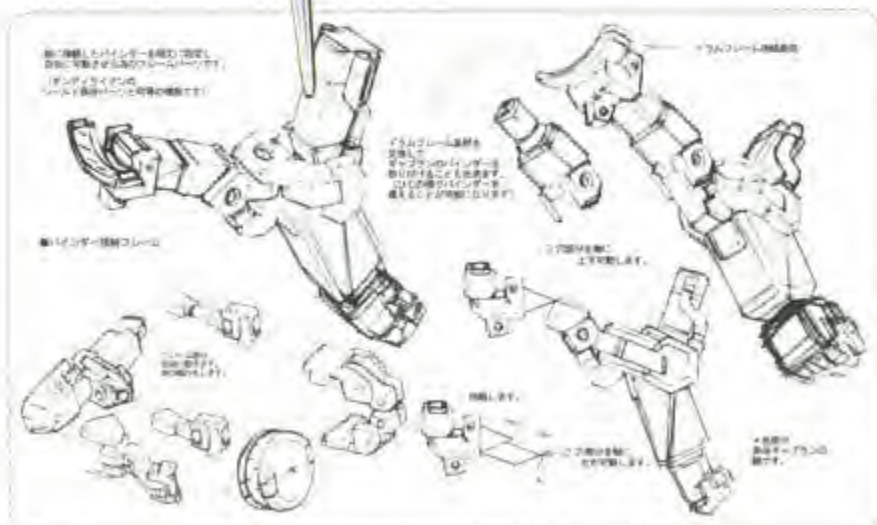
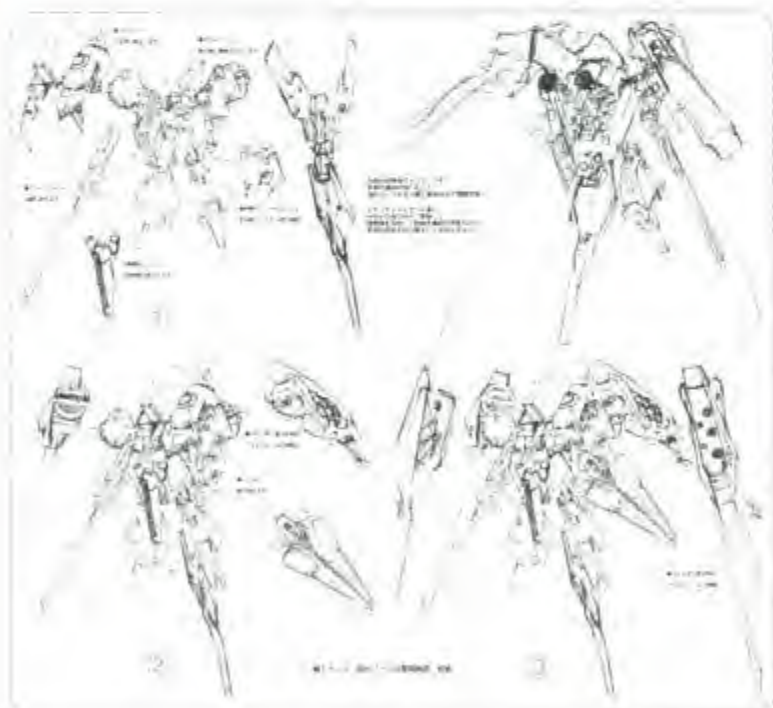
ファイバーのエンプレムは、天使を模したウサギのマークになっている。推進軌道により天から降りてくるところから、天使のイメージが与えられたようだ。ウサギが持つ長い耳は、耐熱深くへと侵襲するファイバーの任務内容を象徴化している。

MS用船のファイバーが使用するシールド。燃焼機によってシールド・ブースターを二枚つなげた通称「ダブル・シールド・ブースター」。シールド・ブースターが持つさまざまな機能を活かし、防護としての多様な活用方法が確立されている。

複合防御バインダーに設置された実弾兵器防御用の拡散ビーム砲は、近距離であれば攻撃にも転用できる装備である。4枚のバインダー各々に拡散ビーム砲が5門ずつ装備されているため、MS形態のファイバーは機体の全周囲に対して低火力ながらも攻撃を行うことができる。これは、ファイバーが不得手な接近戦においても有効な攻撃手段となる。

ORX-005 ギャプラン TR-5[ファイバー] MS形態

TR-5[ファイバー]のMS形態。可変MAであるギャプランをベース機としているファイバーは、ギャプラン同様にMA形態からMS形態へと変形することができる。MS形態では、機体左右の複合防御バインダーが分割される。4枚になったバインダーを可動スラスターとしてコントロールすることで、さらに自由に推力方向を操ることができ、MS形態では空中での運動性が向上する。何より、大地に降り立ったファイバーは、巨大なバインダーが邪魔になり地上を自由に動くことができない。ファイバーにとっては、MA形態・MS形態のどちらでも空中戦が機体性能を最大限に引き出す戦法なのだ。



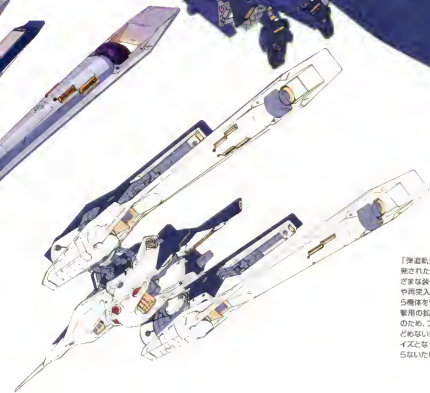
RX-121-1+FF-X29A ガンダムTR-1[ヘイズル・ラー]第二形態 ブースター装備

ヘイズル・ラーはカテゴリー的にはMSであるが、ブースターを装備した第二形態のヘイズル・ラーは固くなくMAに近い機体特性を有している。ブースターの装備により、機体の航続距離と加速性はMSのレベルを遥かに超え、敵の索敵圏外「アウトレンジ」から急接近して攻撃を加える強襲任務を可能にしている。特筆すべきは、本来MAとして開発された機体で行なわれる任務内容を、MSにオプションパーツを装着して再現した点である。ヘイズルは、オプションパーツの換装により機体特性を変化させる無限の可能性を秘めたMSなのである。



ORX-005 ギャプランTR-5[ファイバー]

「弾道軌道による敵拠点への超常速侵襲」をコンセプトに開発されたファイバーは、その特異な任務内容に合わせてさまざまな装備が施されている。大気圏脱出の大推力スラスターや衝突入用の冷却システム、さらに敵拠点の迎撃システムから機体を守るための「フィールド・ジェネレーター」やミサイル迎撃用の拡張ビーム砲など、安価のない万全の装備を誇る。そのため、ファイバーはベース機となったギャプランが原型をとどめないほどの追加パーツで覆われた巨大MA並みの機体サイズとなった。宇宙での輸送の際は、戦艦のMSドックに収まらないため船外にワイヤーで牽引されることになる。



一騎当千の重騎兵“モビルアーマー”

『モビルアーマーとは?』

「モビルアーマー」MOBILE ARMOR（以下、MA）とは、特定の運用用途において突出した性能を発揮するように設計・開発された機動兵器である。汎用性を追求して開発された人型機動兵器の「モビルスーツ（以下、MS）」とは異なり、非人型型の形状をしているが、宇宙空間でのAMBAC効果を得るため脚や翼などがついている機体も多い。汎用性の面ではMSにあるものの、機体用途に合った環境・戦場で運用した場合、MAはMSの何倍もの戦果が期待できる。反面、機動性や攻撃力を追求するあまり、動力源が巨大化して結果的に機体サイズも大型化する傾向がある。機体の大型化はコストの増大を招くため、量産化されたMAはほとんどない。それでも新たなMAが作り続けられるのは、たった1機のMAが戦況に与える影響が絶大なためであり、限定環境下でのMAの活躍は、生産コストに見合うだけの価値があるからであろう。MAは戦場のミリタリーバランスすら左右する、正に“一騎当千”の機動兵器なのである。

過去に開発されたMAたち

MAN-08 エルメス
(サイコミュ搭載型MA)



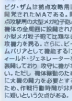
エルメスはサイコミュシステムを搭載したニュータイプ専用MAである。試作機体のサイコミュシステムと、サイコミュによる遠隔操作式の機体ユニット「ビッド」を機体内に搭載しているため、小形宇宙艇並みの機体サイズを誇つた。エルメスはサイコミュシステムをMSの機体サイズに収められなかったため、必然的にMAとなった機体といえるだろう。

MA-05 ビグロ
(対艦攻撃用MA)



旧ジオン軍によって開発されたビグロは、機動性と攻撃力の両方を重視した対艦戦用を主な任務としていた。MSとほぼ同等にならない機動性によって自艦の艦底に急接近し、強力な兵器によって打撃を与える「一撃離脱戦法」が実用手段であった。ビグロの弱點は約4000トンに達する重量と、ビグロの動力源は約4000トンに達するMAであった。

MA-08 ビグ・ザム
(拠点攻略用MA)



ビグ・ザムは拠点攻略用に開発されたMAである。同型の機体の大型化の方向性、機体の金属部に搭載された小型MAが数子で並列に攻撃力を誇る。さらに、ビームバリアとして機能するフィールド・リジェネレーターを装備しており、攻守に優がなない。ただし、機体移動のために大量の動力が必要とするため、作戦行動時間が非常に短いという欠点がある。

AMA-X2 ノイエ・ジール
(強襲戦術用MA)

ノイエ・ジールはアクサスで開発された強襲用MAである。70メートルを超える巨大な機体には、大威力のプラズマと多数の機関銃、さらにフィールド・リジェネレーターなどが搭載されている。機動性を活かし、単独で敵部隊（艦隊）に接近し、強力な火力で突撃し、敵艦隊を打ち壊す。強力な火力で突撃し、敵艦隊を打ち壊す。強力な火力で突撃し、敵艦隊を打ち壊す。



RX-78GP03 デントロビウム (拠点防衛用MA)



敵対軍と戦って開発された本格的なMA、「GP計画」の一機として拠点防衛用に設計・開発された。「スタイメン」と呼ばれるMSコアに、多数の兵器を内蔵したコナンナ状のアーモドベース「オーニス」によって機体が構成されている。MAというよりも、一機で数隻のプラントMSを倒す能力があり、圧倒的な火力で敵艦隊の阻止および破壊を行う。

成敗圏を貫く巨弾



EPISODE
5.45

■イタコン

0007年6月

室内に音程が隔り渡る。

すてきなパイプ・ソックスで装飾されたオート
バスを乗入れ、乗客の「パイプ」に飛び乗
った。

「へえ、ちうへいには一機の本物が製造されたんだ。アタタのジライヤと比べると、ステータを無視し、機に近づく時の保持・貫通用のクローウでダメージアップを取り付けたんだ。こゝろにも多分ステータが低いらしいが、これは「ヘルシー」の亜形態と呼ばれているが、実は「ヘルシー」の真実を人々に知らぬことに決めたんだ。オレの意見を人々に知らぬことに決めたんだ。オレの意見が正しかった。」

前説へナスルヲト出撃したとき、水戸トトによる加減、北方向のペースメントが発生するにとわわがつん、脚部のミススラーで対処するが、重形艦ではその改良が行われた、腰のミススラーにより加減力を増強しつつ、そのペースメントを解消するにやがてきたのだ。

だが、結果的にとてもモヒルスーツと呼べる代物ではなくなった。推力や航続距離とモヒルスーツ本来の作戦性を天秤にかけたのだ。

「同」軌道の視方に、サシバルがいて「シェーダー」艦長からの指令が下る。「エウーゴ」の艦と確認された。その艦が、まじヒスと音が三機出た。まじヒた、迎撃し

「了解、オードリーは言った、**「ペイメル、うゝ、出ます」**」
カネバルトたちも必要になった。二層樓のフルビドの推
力と推進力の量は、通常の作戦行動時間であれば、
充分だにちがひがある。

イペニールを出ると、オードリーはすぐに敵を捕足した。三機のままだ。モノアイの強襲モードにして二基の日デブフレード・ライフルを構えた。敵のライフルではまだ狙えない。

オードリーは、左右のロング・ブレード・ナイフを撃った。威力は凄絶だ。一機のネズミを直撃した。

実の事が読める。

読むと二種のまきは、左右に展開した、ハイカルウ
1の加速方のせいで、敵との距離はたちまち詰まっ
た。ドクダのサイトに突入した。

副長のエリケ・ハモンド中佐は、イスミールの艦橋でモニターを見つめて、戦況を把握しきうとしていた。



STAFF

原作：富野由悠季・矢立肇

ストーリー：今野 龍

メカデザイン：藤岡雄輔

キャラクターデザイン：宮藤卓也

マーキングデザイン：藤岡健機&ペッパーショップ

設定極力：片間大細

企画：電撃ホビーマガジン編集部

企画協力・設定：サンライズ

◎製造エージェンシー・サンライズ

が、増えすぎた。その結果、物資が不足するようになってから半世紀前の第二次世界大戦（U.C.）の頃、日本は、ひとつも敵対したスーパー大国のなかで、唯一の敗者がジョン・公使を殺した。この一打に対して独立戦争を仕掛けた。第二次世界大戦中、日本は連年の勝利に甘んじていたが、日本の敗北は、第二次世界大戦に対する抵抗運動を行ったのである。U.C.0095年、独立戦争中、これらの「バニー」の助けを借りて、特殊部隊「ヴァンタム」を創設し、地球の治安維持を担った。

フしたオリジナルスーリー
ファイバー

たりやせずしなげくなくなる。それに多大な費用がかかるし、国政を専門とする政治家になぞなく、口のいいカールはこの強硬派といふべきで、口が重たいカールの様な人ではない。カールは「カール・ゼーデルツグ」の呼ばれだ。まさに特攻を考えるとこれ以上の作戦はない。

特攻を考えたのは運用というものは間違えなく特攻を組織したものをいさなされた。カールのカールの名前を聞いて、エリシアには嫌な気分だ。

そういうわけで、カールとゾラが基礎を制限とははいない。カールならたまたまここで生活してはいない。カールが基本でもじつはソウを輸送するのはかわい

轉か込てゐる。カニツキが、基地をフイバト、ベエツル化、ロビツル化の三つで強襲してゐるはよろしうだが、このうち第一のフイバト運用にはまだ欠点がある。基地の旧臣に失敗したと、述べ得るべき通説がない。旧臣時代に比べてもヒタリーの作戦行動時間短縮は世界歴史上向うといへばいい。しかももともと単純な運用である以上、兵隊ではあるまい。

空母が飛立つた瞬間、機が上空に舞ひ舞けたいのを、胸についた恐怖だ。

制圧機動した後さきにもいふまじらなければならぬ。彈道ミサイルのように打ちもされたフイバトなどは、もとの基地に勢力を及ぼさないものだ。

「アッ、隊長の音が聞える。」
「アッ、隊長の声か。さあ、さあ。」

「了解です」「カルガなこえた。「ズバーン」シャトルの中や待機してればいいわけですか？」
「そうだ。おとなしくい子にしていれば宇宙に戻れる。」

■カムチャツカ基地

2007年6月

5.5 ESDS-PM

[illegible]

電撃ホビーマガジン & サンライズ 共同プロジェクト

ADVANCE OF

ティターンズの旗のもとに

ファイバーのフィールドが
シャトルを狙う敵のビームを弾く。
「まだ出られないのか？」
「あと、三十秒待ってください」



結局、エリアドたちも、カムフラージュ基地から宇宙へ送られることになった。驚いたことに、カムフラージュ基地にはシャトルを打ち上げる機体が隠れていたので、もしその機体がなければ、本拠スードリを再びどこかの基地まで逃げさせるヘドリに破壊されているシャトルで宇宙に脱走しの手がなかったことになる。

「すでに敵はこちらの動きを感知しているはずだ。マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「同僚が。」

マフイーが機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「ファイバーは機体で大暴走を隠脱することが可能なので、シャトルは逃つていい。当然、マフイーはシャトルに機体をつなごうとしたのだが、マフイーが機体に戻れなかったのだ。丸腰で逃げ立てるは、マフイーの機が壊れた。シャトルが宇宙に飛び立つこともまったく無意味だ。そこを逃げていくことは完全に不可能だ。」

「あと三十秒待ってください」
エリアルドはマラーの動きを把握しようと、首を捻って壁の外を眺めていた。

「なんだというワレだ……」

ガブリエル・ソラは機体の動きを覚えて、またしても首を捻らせた。タイタースはモビルスーツと呼ぶモビルスーツとモビルスーツとを区別しない機動兵器だ。中途半端な兵器に見えるが、その能力は桁外れだ。

「だが……」

ガブリエル・ソラは言っていた。「ドッグファイトではそのパワーを活かせないだろう」

アングラーの大型艦内の航行性能はまあよくない。何より小回りがきくのがなかった。カクリエは艦橋上、戦場ではワレも機動性を優先すべきだと考えていた。

ペーアのキャットに乗ったオズをより、空戦の能力は数倍落ちていく。カブリエルはそう言っていた。半端での戦いはうまくいかず、かき回すで入る艦内の戦いにも慣れつつあった。

「カムキャンカ基地は返してやる」

ガブリエルは言った。「タイタースの好きな戦手にはまわす」

カラハのモビル機体の動きも悪くはなかった。カラハの中には艦載の勇士もいる。戦いよと、あのホワイトベイスのクルーも何人か参加したいという。シートルを打ち出すカミカザルトに決死されるのが見えた。

「行かざるぞ」

ガブリエルは、その言葉を阻止すべく叫び込んだ。牽制でフールを撃ち込んでくれてアングラーもモビルスーツ形態へと変換された。

「くそ、多勢に無難だ……」

エリアルドは「コクピットの小さな窓から見える断片的な戦いの状況を見守った」。

「それ、アングラーのせいで、艦隊規模が小さい」

カーネル分析した。「大型艦内の機動性は艦空力學に支配されるからな。パイプを突き刺さるタイプのファイバーは不利かもしれない」

「いとも簡単に、機体は出る」

エリアルドが言う。カーネルはカクリエを助けた。

「艦長に話しておけ。俺たちは宇宙に出すために戦うてくわいるんだ」

「だがさあ、助けに行かなくていい」
「艦長が言ったとおり、大切な機体を守れて、俺たちはテストチームだ。何より大切なのは、機体とその機体のワレに、き壊されてもデータだ。そ





れき忘れるなよ

エリルドは言葉を失った。たしかにカールの言
とおりで、だからこそ、マウワイは命をかけて戦っ
ているのだ。

アジマーがナイバーの端をすり抜けるように回り込み、シャトルのほうに向かった。そして、突然空中でモビルスーツに変形した。

「カネバの力のほうが上ります」
 織姫が言った。「秒読みは省略。管制官の合図で出ます」

「うまくやれ」
「カールが言う」「随分いふはきつするな」

「ふん、ファイバートの力がこんなものだと思っただら大間違いだ」

「マフオー」はファイバークラットを強制剥離した。外装が炸薬で吹き飛び、本来の姿を現した。ギャブランTR-5だ。

「このTR-5のためにハイゼルのシールドブラスターの実験がある」

「ふやいでいた。『ヘイズルとT.R.5はまさに兄弟機。つまり、使い慣れた機体をめだ』」

「パイロットのネズミたちの動きが、これでいい。マーズ・イーは彼らとヒューミライフルで舞い、あるいは体当たりで地上に叩き落とすのだ」。

モビルスーツ形態のアシマーがトングファイトを挑んでくる。マフイーは堂々とそれに応じた。突然、シャトルを載せたカタパルトからオレンジ色

の姿と巨爆が噴き出した。同時にシヤトルのブースターからも炎と爆が舞い上がる。

空に飛び出した。白い煙の尾を引きながら、空へ消えていく。

アシマールは横這した。マーフィーはその動きをモーター内にとらえながらつぶやいていた。

EPISODE
END

NEXT
EPISODE
A.O.Z.U.C.0088
「結開演」

ORX-005 ギャプランTR-5 MS形態

ORX-005ギャプランTR-5は、TR-5(ファイバー)のコア・ユニットとなる可変MAである。可変MAの名前が示すとおりギャプランTR-5は、MS形態への変換機能を有している。MS形態のギャプランTR-5は機体背部に可動式のスラスタユニットを有し、両手にシールド・ブースターを装備するという、ヘイズルの強襲形態に極めて近い機体レイアウトとなっている。これはT3部隊によって蓄積されたヘイズルの実戦データが、ギャプランTR-5の開発に活かされているためであり、機体の挙動や操作性は非常にヘイズルと似かよっていた。ギャプランTR-5による初めての地上戦でマーフィーが機体を自在に操れたのは、

ヘイズルに近い機体特性のためであった。

元来、ギャプランは強化人間用として開発された高性能機であり、ヘイズルの実戦データをフィードバックして製作されたギャプランTR-5は、ヘイズルの元凶機的な性格の機体であったといえる。

右の翼は、機体後部の可変機構によって折り畳み、機体前方に収納される。

可変機構
スラスタユニット

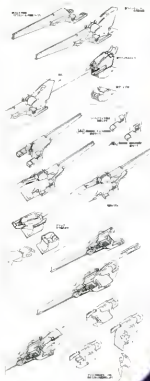
可変機構

可変機構

可変機構

ギャプランTR-5の機体には、ヘイズルと同様のセンサー・ユニットが装備されている。トランス・ブレード・アンテナも装備しているため、その外観はガンダムと類似している。

ORX-005
GYPLANT TR-5



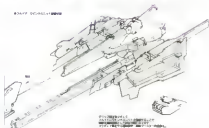
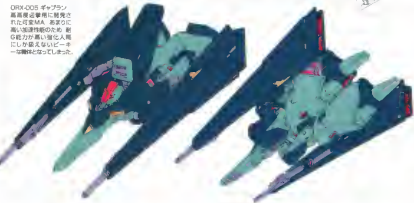
ギャブランTR-5用に考案されていたウイング・シールド、ブルドッグのノーズ・センサーユニット等、活用した装備で、射出後は有線誘導により運動操作が行なえるようになっている。

ORX-005 ギャブランTR-5

ORX-005ギャブランTR-5は、TR-5[ファイバー]のコア・ユニットと可変MAである。機体各部に微妙な差異はあるものの、基本的にはギャブランと同様の機体仕様となっている。最も大きな変更点は、ギャブランの両腕に装備されていた特設可変ムームバブル・シールド・バインダーが、シールド・ブースターに換装されたことだ。ムームバブル・シールド・バインダーの最大力は強化版「G」を生み、ギャブランを強化人間専用の機体としてしまった。そのため、常人パイロットへの負担軽減も含めてギャブランTR-5にはT3部隊でテストされていたシールド・ブースターを装備したのである。バインダーがシールド・ブースターに換装された状態でも可変機体には影響がないため、ギャブラン同様状況に応じてMA形態とMS形態を使い分けことができる。TR-5[ファイバー]の強化パーツをバージンした場合でも、ギャブランTR-5は単体で十分な戦闘能力を有した優秀な可変MAなのである。

なお、ギャブランTR-5へのシールド・ブースター換装にあたっては、[ヘイズル]によって蓄積されたシールド・ブースターの運用・実験データが活かされている。これは、T3部隊によるデータ収集が最新機種ヘーフィードバックされた一つの好例といえるだろう。

ORX-005 ギャブラン
高機動運用に特化された可変MA。あまりに高い運動性能のため、戦力増強が速いだけに人間にしがたないピーキーな機体となってしまった。



上部はフルドッグにウイング・シールドを装備した状態。TRシリーズの機体は通常は機体の構造が定まっているため、射出機体が固定されている。下部はMA形態のギャブランTR-5へのロング・ブレード・ライフル装着時。





「我々は、エウゴのロサ・ギガンティアを制圧する」
 「制圧できない場合は？」
 「ロサ・ギガンティアの破壊だ」

EPISODE 5.6

■イミール

0079年8月

イミールのモビルスーツが、無に決まったエリアルドは驚いて、新に三機が配置になり、モビルスーツが他に見えたのだ。もちろん、本機モビルスーツの個中機、つまり合計六機のモビルスーツを搭載するイミールに、今までのイミールの小隊しかなかったから、空軍運用という意味では、これは通常の運用と違って、メカクワのジョナサンとレイナルもおおきに張り切り切った。

タイタンズに言う「この戦いはいいよ」といふ言葉を、押し、エリアルドである「イミール」小隊も空軍部隊に編入されていた。

カムフラージュの紙の箱に機体の整備が変更された「イミール」小隊は正式にギガンティアに格納することになった。エリアルドは、ヘイメル改のパイロットに登場されるカルは、アドバンスド・ヘイメルに乗りこむことになった。オードリーは機体必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

必死に支援機に乗りこむことになる。

「運命が……やはりそう決まってしまうのか」

さらにカールの質。

「モビルスーツと三機はザンジバルから出た。つまり、リック・ドマスと機にまたか。……本日はお前の命を救った。お前もビーム・カマフラージュ」

「そいつを捉え、カールに付きまと倒れさせよう」

「了解」

カールのドバンストへカールがコンプレックスを押し返すに決めた。機もビーム・カマフラージュを……

「うわ……」

エリカは目を瞑りてつぶやいた。「戦場のビーム……」

「動け」

「悪くは無いが……」的にならぬことはないと」

長距離砲撃の響き合ひとなる。

ガブリエルはリック・ドマスが死に入つた。これは汎用機の高機動性で逃げてしまった。と知らない。さきこの機体は間違いない。ザンジバルの名残を……

ガブリエルの後部にあるロケット・ブースターを……」

「はは……」

「やはり……」

ガブリエルはつぶやいた。「主戦場の外ではなく、別の戦場で戦う船があるとしたら、やはりだと感じていた」

モーターには強いが、ガブリエルの船が映し出された。しかもカールは……

「ふざけたもんだ」

ガブリエルは思った。「リターンは連邦の戦いと戦艦を自ら出すのか？ ガンダムは唯一無二の存在ではないのか」

「了解」

ガブリエルは、スラッシュと機体から油煙し、前進した。ビーム・カールを……」

「敵機、接近し……」ビーム・カールの威力も……」

「了解」

「大火力の兵器に……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」

ガブリエルは……」ガブリエルは……」





の動きは複雑なものです」

「機体のギアやランダムなギアを制御するようには出た。ドッグファイトに入る。」

「四角くはなしてハヤシロウの戦いを待とう。エアルドは、ロアギカギンティアのリンクエクスをターゲットに狙おう」といふ。どちがなまじ、次の球が飛んでくる。どちらがやられるかわからない。エアルドはリンクエクスに胸当てビームランチャーを連射する。

「ここままだとロアギカギンティアに倒れてしまう。エアルドは、画面を見回した。すでに第二小隊の各機はラングライトに集まっていた。

「こけ落ちはケル・ロングレンジアウルも威力を誇らない。マイファイ・機体のギアと黒いリンクエクスはますます焦るビードで接近戦を待っている。」

「エアルド」

「エアルドは言った。『前へ出よう。ロアギンティアに近づけよう。』」

「おこるよ」

「ケル機が前へ出るとする。そのとき、エアルドは機体の後方にあるギアの動きが気になさへ。カイルを支援しなさい。……その意図を察知したように、オードリーのワルド・ロングレンジアウルが機体を動かす。

「機体は衝撃を受ける。どこかに落した。エアルドは急いでエクスをそうさせた。いしに被害はない。エアルドはリンクエクスに攻撃を加えようとした。そのとき、巨大な光をそこに放った。

「何だ……」

「オードリー」

「オードリーが叫んだ。その瞬間、エアルドは何かが起きている。そのビームが、カイルのアドバンスへエクスを放ったのだ。

「カイルが死んだ……」エアルドは信じられなげに、その球をうつめていた。

EPISODE END

NEXT
EPISODE
A.O.Z.U.C 0087
「絶死」

STAFF

原作：宮野由悠季・矢立肇

ストーリー：今野

メカデザイン：藤岡雄樹

キャラクターデザイン：宮藤卓也

マーキングデザイン：黒岡健樹&ベッパーストック

設定協力：片岡大輔

企画：電撃ホビーマガジン編集部

企画協力・設定：サンライズ

©制作エージェンシー・サンライズ

電撃ホビーマガジン & サンライズ 共同プロジェクト

ADVANCE OF
ディターンズの旗のもとに

人類が、増えた人口を手順に増殖させるようになってから半世紀が過ぎたとき（U.C. 0079年）地球からもっとも離れたスペースコロニー333「ジオン」公国を築き、地球連邦に対して独立戦争を仕掛けた。後に一年戦争と呼ばれるこの戦いは、地球連邦の勝利に終わった。しかし、ジオン残党は自国に留み、連邦に対する抵抗運動を行ったのである。U.C. 0083年、地球連邦は、これらジオン残党の討伐を目的とする特殊部隊「ティターンズ」を設立。地球の治安維持を圖った……

機動戦士Zガンダム、よりスピンオフしたオリジナルストーリー。エゥーゴのラビアンローズはドック艦の攻略に向けたT3部隊は、ドック艦の防衛部隊と戦いを繰り広げる。

EPISODE
5.61

●長瀬山崎町下

0007年0月

[illegible]

が見えてきた。ビーム・カインの強力な荷電粒子に

「カー、生きているがっ」

さらに直撃を食らって、ユウピットも消けてしまったが

卷六十五

マリー・ブーエー隊長の陣が闇を食た、一掃無残に消え去る。

その質に落ち差していき、人間性を補強を促し、

「方人」にヒトと大のちを控えた字を誤用と云

スーパードラッグ「ムネヒト堂」が、キチンとムネを

● 日本経済新聞「日本経済」2006年10月10日

© 1999 by The McGraw-Hill Companies

モーターは、放電が完了した電池は、充電が完了した電池と入れ替える。充電が完了した電池は、充電が完了した電池と入れ替える。

Abstract

ビーム・ライフルを連射する。ネモが光の球に包

「カーン機から光信号を確認」

光信号により、思わずエリアルドは破壊したカール

無網が故障した際の非常措置だ。

マッフィーの車。7ギアプランが一番加速力がある

「エイプリル・ラブ」了解



「ガンダムに乗る、その覚悟があるのだろうか」
 「連邦軍の誇り、勝利の象徴。自覚はあります」
 「その程度では足りん」

ギアズンが、高温のガスを使いよく制御して、
 ちまちまのアドバンでヘイルに接近した。
 「オトリもさあ」

エリアルは思った、「フルドにシビタフイト
 は無理だ」

「了解」

オトリのアドバンで、戦場を離れ、離
 れ離れを意味したオトリは、それを覚悟に心得
 ている。

前方のシステムを壊すと、接近してからロブ
 プレドをフルに連射している。マフー機がカ
 ール機を連れ、システムに焼けた。オトリも
 接近した。

「さき小隊で戦場に残っているのはエリアルとヘ
 イル改修になった。第三小隊は離れ、機が残
 り、他の機が爆撃し、のめり付けたのはわか
 ることだ」

第三小隊、機体のシステムがロブプレドに
 打ちこまれている。機体の反響が予想以上だ。
 ロブプレドのシステムは、機体の反響が予想以上だ。
 ロブプレドのシステムは、機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

第三小隊は、システムを壊すようにしている。
 フリ、ロブプレドのシステムは、機体の反響が
 予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。機体の
 反響が予想以上だ。機体の反響が予想以上だ。

とをリアルドハーター(中尉)と

その間に書きが来た。

ガブリエルさん。

リアルドは、返答すべきかどうか迷った。兩と金
額すること、照小隊長には頭を打たれられるか
も、ある程度のダメージを食えることは無理で
も、こちらがハーター(中尉)とリアルド(大尉)と

「こちらにハーター(中尉)とリアルド(大尉)と

「リアルドは来る限りは、それだけの犠牲があるのだ
ろうな」

「逆転の切り、勝利の裏切り、自衛はあります」

「その様子は見たい」

「では、どちらの犠牲が必死ですか」

「今後、貴様がガブリエルに集まる限り、私のようなパイ
ロットに扱われるというところ」

「聞くは天です」

「その心算は買えます」

先述したのはガブリエルさんだった。リアルディ
アスに太陽を盾にする方向に移動する。もちろんレ
ダーもあるが、ドラゴナイトの機中は「ター」によ
る後援がものという。太陽を盾にするのは戦いの本
本だ。

「リアルドの亡霊」

リアルドは、ヘイルのありとあらゆるスライ
ドを駆使して自らを大きく動かし、リアルディアスの
きたまな方向の白に映えられ、リアルディアスに
射らせた。

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」

リアルドは、リアルディアスのパイロット
であるという誇りと責任感だ。

「リアルド」





もりでいた。

壁間にエリアルを撃ち続ける。エメルギ一の残量を確認した。おそろしくチャンは一度、エリアルドはそう思った。

ロサキギンディアのことを気にしている流儀はなかった。その日は第一小隊長に任せよう。ガブリエルが奪ってきたビームが胸の装甲を破壊する。その瞬間、ターゲットスコアにロククオレバ。チャンはその瞬間に気がいた。

「当たれ」

エリアルドはビームラッパを放料した。

手応えがあった。ビームがそののリックディアスを奪く。次の球が跳ねあがった。

ほぼ同時にロサキギンディアの機頭部に弾が命中した。第一小隊長のモササイが攻撃を仕掛けたのだ。

エリアルドはすぐに機体コースに集まってきた。第一小隊長がすぐにそれに追いつく。

「ヘイスル改、だれじまるか」

第一小隊長の声がある。

「だれじようか。機体の心臓はあります」

リックディアスは追いついてきた。エリアルドの放ったビームは直撃ではなかった。だがリックディアス機体の大きな背中の中のパイプを破壊していた。縦いがたわると、急にカールのことになりはじめる。

「こちらバンター中尉、イヌミール」

「こちらイヌミール」

「バンター中尉の安全を知らされた」

しばらくは静かだった。心配が解けた。やがて、通信が再開した。

「生きたまま、悪逆が繰り返す」

カールの声だった。エリアルドはほとんど息を吐いた。

「バンター中尉、無事です」

「モリス、リチャード、待てよ」

ロサキギンディアを攻撃することはできなかった。だが、しばらく機体は停止するだろう。作戦はひとまず成功といえる。

EPISODE END

NEXT
EPISODE
A.O.Z U.C 0088
「ゾラの行方」

STAFF

原作：高野由紀子・矢立肇

ストーリー：今野 敏

メカデザイン：藤岡建樹

キャラクターデザイン：宮藤卓也

マーキングデザイン：藤岡雄飛&ベッパーストック

設定協力：片岡大輔

企画：電撃ホビーマガジン編集部

企画協力・設定：サンライズ

©創造エージェンシー・サンライズ

電撃ホビーマガジン & サンライズ 共同プロジェクト

ADVANCE OF
ティターズの旗のもとに



戦か「増えすぎた」人口は、戦後復興期に必要とされた労働力に供給された。UICの1997年
 地球からもっとも離れたスペースコロニーサード3の公衆を養育する
 地球連邦に対して独立戦争を仕掛けた
 歴に一年戦争と呼ばれるこの戦いは、地球連邦の勝利に終わった
 しかし、ジオン残党は各地に潜み、連邦に対する抵抗活動を行ったのである
 UICの2003年、地球連邦は、これらのジオン残党の討伐を目的とする特殊部隊ティターンズを設立
 地球の治安維持を担った

機動戦士Zガンダムよりスピノブしたオリジナルストーリー。
 遂に「アクシス」が地球圏へと侵襲し、ティターンズとの同盟を締結。戦況が激変を極めるなか、
 T3部隊に新兵隊登壇の命令が下される。

5.7 Episodi

■サンジバル

2027年10月

[illegible]

ブリッジの主眼には雄略が映し出されていた。コロト青木のガブリエル・ソラにとっても生命の柱は美しく懐かしさを感ずる。

今、ザンシバルは単独で月の軌道を脱し、地球を
星軌道へと向かっていた。

「ガブリエラ」部長席からカザンク・ラーソンが声をかけてきた。ラーソンは、今し方無線でユウゴ本隊からの報告を受けていた。「アクシズがティターンズと手を組んだぞうだ」

「まん……」ガブリエルは思わず皮肉な笑いを浮かべていた。「エーゴの健闘団は失敗をしたというところだな……」

「ジョンの再興を目標とするアウズがなぜ地球軍に主義のティターンズと手を組んだんだ？ てっぺり、ユーゴとの逢合がうまくいくものと思っていたかな……」

「ハマー・カーンはそのいうやつだ。ジョンの大圖を利用しながら、おのれの利を求めて小賢しく振舞う」

「ライオンは難しい顔で警報をこもった。「アクシデントがアイターニズになったとなると、この戦いはおおに不利になるな……」

「ズに味方してくるとは聞かない」
「アクシズとティターンズの連合は一時的なものだといふのか？」
「あるいは、見せかけ……」

「それより、ディターンズ内部からの情報というのは、
確かなのか？」

ない。ティターンズは、何かが新兵隊を地球の衛星軌道にまで打ち上げる」

「内通者か……。ティターンズも、内部から瓦解を始めている」といふとどきだ……」

「早く戦争を終わらせたいと思っているやつらがいます」といふことだ。新兵装の投入というのは、それだは戦争を再引かせる要因になる」



「内通者か……。ティターンズも、内部から
瓦解を始めているということだな……」
「俺たちは初めて勝ち戦を経験できるかもしれないな」
「どうかね。ティターンズはなかなか手強い」

「俺たちは初めて勝ち戦を経験できるかもしれない。逃げ勝つやつらな艦ではない」
「でもね、ティターンズはなかなか手強い。地球から打ち上げられた荷物を受け取るのは、さすがスエズ海峡のイスミールだ」
ガブリエルはうなずいた。

「イスミールにはテスト小隊がいる。つまりガンダムがいらるわけだ」

「俺は、新兵器というのが気になる。この機に及んでティターンズはまだ新機の間髪を容れない」

「前線の前兵は経験しても上層部は戦争を辞けたがる」

「三日ほどは戦を継続する。今のうちに休んでおいてくれ」

「どうせせむせむ。もう若くないのさな」

「リック・ドイルの機体が合わない。まきで出てくれ」

「機体は初だていい」
ガブリエルはフリッジを出た。だが、正確な言うて、それは別の機体を使った。まきはあまりに運兵軍機。

■イスミール 0087年11月

「本拠と回線道を閉鎖している船がある」
副長のエンリケ・ハモンド中佐がエリアードとオードリに言った。彼らはフリッジ・グブルーでいた。

「ザシバルだ。ユウ・リッポウと確認されている」
ガブリエルはフリッジの船とエリアードは艦だ。ハモンド副長の機体が誤り。

「カルマ・ズラ中尉は逃げ残りに行く。荷物を衛星軌道上でシールドごと本拠に返す。ザシバルは本拠に防衛工作を行うものと手配される」

彼の防衛をさせたを一度で阻止してもらわなければならない。

「マリナー隊は、コベイト付近にいるスワンに行こう。エウゴのコンバット攻撃計画を断知したため、その防衛作戦の会議に出るためだ」

二人で荷物とカルマを守らなければならない。カルマは、ロケットガンで攻撃時で乗船し近接のために地球に降りた。まきは副兵艦に降りた。任務をこなさなければならない。

「ティターンズは、地球面に降下しなクランと手を結んだと聞いています」

オードリ・バモンド副長は言った。「フオン復興をもちろむ。またまき手を組まなければならない。かつたのでしよう。それだけ状況が差し違っている」と

「いつかお会いします」

「それは参謀本部が考案するのではなく、われわれは目の前の戦いに集中するだけだ」

「この時期の新機軸投入などにはさすがに基盤配属されるべきです」

「これまでも、モビルスーツを戦場に投入してきていたというこれまでの流れからいって、今まで通りやるだけだ」

「オールドリはもういい」

「アキラはいい」

「ハモンド副官は連年の二年戦争とそれに続くデラズスの反乱」において、シグナー艦隊士人の部下も死なないない。これは連年戦争の伝説となつて、その伝説に決して傷をつけてはならない。元々ではならないというところ。そのためには、金銭なことには考えず、目の前の戦いに全力を尽くすことだ。それが最善の作戦だ」

「はい」

「エリカとオールドリは同時に亡くなった」

「もともとエリカは、その精神力が落ちていた。エリカはさまざまな情報源からデータを内部で検索してくる。そのリストは正確にもあっているのだ」

「それにあわせていける。ハモンド副官が言ったとおり、戦況は参謀本部が考案するのではなく、エリカとオールドリが考案する。その戦況をひたすら進行するだけだ。戦争に正確にもあっている。戦況と戦術があるだけだ。主戦の要は、戦争が終わるまでに付加される。戦況と戦術の要だ」

「ブリーフイングル」を出るエリカはオールドリに告げた

「アキラと手を結ぶのは同時に戦況と戦術の要だ。アキラと手を結ぶのは同時に戦況と戦術の要だ」

「わかっていてもアキラは信じていない」

「あ、この戦い、アキラの動きが次第で、これは、信じていくことになる。だが、作戦中に金銭などには考えず、目の前の戦いに全力を尽くすことだ。それが最善の作戦だ」

「オールドリはもういい」

「アキラはいい」

「ハモンド副官は連年の二年戦争とそれに続くデラズスの反乱」において、シグナー艦隊士人の部下も死なないない。これは連年戦争の伝説となつて、その伝説に決して傷をつけてはならない。元々ではならないというところ。そのためには、金銭なことには考えず、目の前の戦いに全力を尽くすことだ。それが最善の作戦だ」

「はい」

「エリカとオールドリは同時に亡くなった」

「もともとエリカは、その精神力が落ちていた。エリカはさまざまな情報源からデータを内部で検索してくる。そのリストは正確にもあっているのだ」

「それにあわせていける。ハモンド副官が言ったとおり、戦況は参謀本部が考案する。その戦況をひたすら進行するだけだ。戦争に正確にもあっている。戦況と戦術があるだけだ。主戦の要は、戦争が終わるまでに付加される。戦況と戦術の要だ」

「ブリーフイングル」を出るエリカはオールドリに告げた

「アキラと手を結ぶのは同時に戦況と戦術の要だ。アキラと手を結ぶのは同時に戦況と戦術の要だ」

「わかっていてもアキラは信じていない」

「あ、この戦い、アキラの動きが次第で、これは、信じていくことになる。だが、作戦中に金銭などには考えず、目の前の戦いに全力を尽くすことだ。それが最善の作戦だ」

2007年11月

参謀本部副官

オールドリが参謀本部に見え

エリカは参謀本部に見え

参謀本部の見え

参謀本部の見え



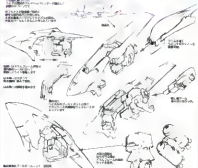
ORX-005 ギャプラン TR-5 [フライルー] 支援パーツ装備型

上: 左、右の両方から見たときのギャプランの姿。右は、フルドを装備した状態の姿。

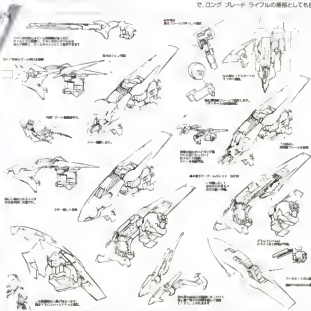
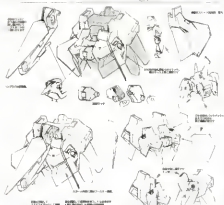
下: フライルーの構造図。フルドの位置や、フルドの構造など。



上の図で比べてみると、フルドを装備した「ヘイズル」(左)と「フライルー」支援パーツ装備型(右)の機体レイアウト(スラスターの位置や表面の内装など)が類似していることがわかる。「ヘイズル」で考案された戦闘データが、その後の機体にフィードバックされている証跡といえるだろう。



可変MAとしてノーマル仕様でも完成度の高かったギャプランをさらに支援パーツで強化した本機の開発力は、同サイズの機体の中では抜きん出て高かった。



ORX-005 ギャブラン TR-5[フライルー] 支援パーツ装備型MA形態

高高度攻撃用に開発された可変MAギャブランは、第2世代MSを上回る性能を持った機体である。第3世代MS(可変MS)というカテゴリが成立する前に開発された機体であったが、その性能は充分に第3世代MSとして通用するものであった。そのギャブランに対して、さらに支援パーツを装備して強化した機体が本機である。

その性能は通常のMSのような戦闘級の機動兵器ではなく、一年戦争当時のMAビッグ・サムや、デラース紛争のガンダム試作2号機のような戦闘級の戦闘力を持った機動兵器であった。そのため、与えられたカテゴリが「領域支配モビルアーマー(Area Domination MA=エリア・ドミナンス・モビルアーマー)」である。地上・空中・宇宙と、あらゆる領域で戦線を支配する絶対的な戦闘力を持ち、あらゆる条件下で膨大なポテンシャルを発揮することができる。最上級の機体、それが本機である。

ギャブラン用の支援パーツも、フルト同様、機体の支援メカとして運用することが設定されている。

ORX-005ギャプランTR-1(「フライヤー」)に強化パーツとして装着されている[フルドII]は、単なる強化パーツとしてだけではなく、さまざまなオプション装備用の接続プラットフォームとしても使用することができる。TRシリーズ用に開発された各種オプション武装は、統一された規格で製作されているため、パーツの接続・拡張を容易に行なうことができるのだ。計画の中には、日本にあるニュータイプ研究所「ムラサメ研究所」で開発された可変MA[MRX-009サイコ・ガンダム]の腕部をヘイズルに装着する武装強化プランも検討されていた。この仕様でのサイコ・ガンダムの腕部は「マニピュレーター(手)」として装着されているのではなく、5連装ビーム砲を装備した攻撃ユニットとして装着されている。

RX-121-2 ガンダムTR-1[ヘイズル・アウスラ] ギガンティック・アーム・ユニット装備

[ヘイズル・アウスラ]ギガンティック・アーム・ユニット装備の「ヘイズル・アウスラ」最新型の機体(「キョウシ」)を模したデザイン。ウサギの要素が手になっているのがポイントだ。



サイコ・ガンダムの腕部が使用されているが、サイコ・ガンダムは組み込まれていない。別プランとして、高機動型の可変サイコ・ガンダム Mk IIの腕部や「ウィンター」ユニットなどを装着する計画も検討されている。



人類が、増えすぎた人口を宇宙に移住させるようになってから半世紀が過ぎた宇宙世紀(U.C.)0079年
地球からもっとも離れたスペースコロニー3がジオン公国を名乗り
地球連邦に対して独立戦争を仕掛けた
後に一年戦争と呼ばれるこの戦いは、地球連邦の勝利に終わった
しかし、ジオン軍の残党は各所に潜み、連邦に対する抵抗運動を行ったのである
U.C.0083年、地球連邦軍は、これらのジオン残党の討伐を目的とする特殊部隊ティターンズを設立
地球の治安維持を促した……

『機動戦士Ζガンダム』よりスピンオフしたオリジナルストーリー。
ティターンズ上層員は、地球圏に帰郷したΖガンダムと戦闘を繰り
返すエゥーゴとの闘いにその力を貸させていく
そんななか、エゥーゴ別動隊によるコンバイト攻勢が開始された

STAFF

原作：藤野由悠季・矢立肇
ストーリー：今野 潤
メカデザイン：藤岡謙典
キャラクターデザイン：藤岡卓也
マーキングデザイン：藤岡謙典&ベッパーストップ
設定協力：片岡大輔
企画：電撃ホビーマガジン編集部
企画協力・監定：サンライズ

©新東エージェンシー・サンライズ

EPISODE 5.75

ザンジバル

0087年11月

「和と工作……」

「ザンバルは、ザンバルを……」

「そう、ザンバルとザンバルの……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

前編は、その前編……

「……」





のだ。エリオルにらしてオドリもまた、カールと同時に関わりになる暇はなかった。

イェミルの外に出ると、すでに戦闘は始まっている。他の主と、死んだアリのハヤシクが敵を接触したのだ。アランのハヤシク機には、リザクをアレンも配装されている。火力においては、敵に決して引けは取れない。

「出番だな」

マフイー隊長の声を聞いてまた、「いいは訓練に過ぎない」。

「了解」

敵機は十五分ほどで終了した。先行していたハイザック隊の小隊三機が敵のなかにアランに解放した。そのときアランの隊が響き渡った。主三機はリクティエスを三機だ。

「戻れ出る」

マフイーの声。彼たちが戦った。

エリオルは、今更に改のメイスナターを動かした。オドリが引き寄せられ、ロクレンジの射撃を始める。すでにオドリはアルドまでの戦い方に慣れているのだ。

エリオルは主とのシグナターに入っている。うまくオドリが機を止めてくれる。機を止めてオドリで撃ち出したとき、主三機およびリクティエス機は追いかけていた。速さを早い。

「次で出るぞ」

マフイーの声が響いた。じりじりとした時間が過ぎていく。アランのハヤシク機がすでに小隊増強のた機に、代わってアランの小隊が出てきた。ジムスナイパー機と改良機三機から成る小隊だ。

カールがあのジムスナイパー機に乗り込んでくた。おどろきに心通じだ。エリオルはそれとそんなことを考えていた。

「リクティエスの機は間に合わないぞ」

「ガブリルはカールに聞かされた」

「はい。ウレチニットミサイルが、ドワングイアンター、シールドアスター、すべて機体から。リクティエス機でウレチニット機を出してやるぞ」

ガブリルは再び、第二波の機体を持たずに出撃した。すでに通常形態のリクティエス機が待っている。

主三機を倒した。主三機に突撃した。

「いなか、シロモノの海に沈むぞい」
機動力が上か、というリクティエスを撃てます。すべて、カールを倒した。

「えい、機が、ミラージュだ。増強した機が、距離」





はらさるな。オードリーに充分な作業の時間を与えてやれ」

■コンバット印象

2007年11月

カブリエルはザンギバルとすまみスは船から次々に出撃してくる味方のモビルスーツを眺めている。

本玉小隊リック・ドーナツと小隊……カブリエルはシフトウツアを出て、能力艇で一気に押し出されるタイタリスのモビルスーツ隊を叩く。その波乱に驚いて戦艦の主砲と大口径ミサイルでウツアの戦艦を攻撃する。それで勝負は決まりだ。

モビルスーツ総力の指揮はカブリエルが執る。なにをいって、なにをソコチは我々のものか。ついでにカブリエルを助けてやれ。

「リク」

カブリエルは、金熊呼びかけを「いざソロン」

と、リクとモビルスーツ隊に加護した。艦の艦は迎撃態勢を取っている。アラフとミサイルですでにも艦にミサイル部隊が展開している。

「二人は新型は艦隊が」

カブリエルは、艦の艦の艦を横目で見て、それからガズムを操縦している。ミサイルを撃ち、ちがいにリクがガズムが持っている。太極拳に白く光る艦隊を操縦した。

「いかな、ガズム」

カブリエルは、ミサイルのミサイルを撃ち、ミサイルで先制攻撃を仕掛ける。ミサイルを撃ち、ガズムがガズムは機動力を活かしてこちらを攻撃する。

「ミサイルは金熊をもつて次の攻撃に移るとして、いかな」

カブリエルは、ミサイルとミサイルの攻撃をかわして、からよく艦の艦を攻撃する。ミサイルは、

「なんだよ、あれ」艦隊でミサイルを叩く。ミサイルは、

「ついで……止まれ」

ミサイルがミサイルがミサイルに思えない。基本はリクがミサイルのミサイルの運用性が、

たかきかされていかにカブリエルに操縦された。だが、ミサイルはミサイルの動きは遅い。

「さき……」

次でカブリエルは、ミサイルのミサイルの運用性が、たかきかされていかにカブリエルに操縦された。だが、ミサイルはミサイルの動きは遅い。

戦略的撤退 コンペイトウを放棄したT3部隊は さらに過酷な戦乱の渦に飲み込まれていく...

EPISODE END

NEXT
EPISODE

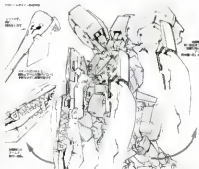
A.O.Z.U.C.0088.7

「ガブリエル・グラーの影」

「ガブリエル・グラー」について
の情報を得たりヨウ・平良シマ
からの連絡に、コンラッドたち
は驚愕となる。次号は最新鋭
のターニシグロバインツとなる
エピソード。読者皆様!

「……逃げろ、みんなのぞ」
コンラッドの叫びに口くすされたことを告げる言葉
が繰り返される。
「やべえ……」
そのとき、乗組員はAを主ターの中を確切った。
「エアル……エアルトサ」
「前回の情報も誤りで」
「無理難題だ」
「エアルトサは仕える。周のメガ粒子砲や戦艦を撃
て」
「わかん」
エアルギー・オリジに少しばかり時間があたる。そ
の間にエアルドが整理してくれた。カル機のメガ粒
子砲は、アンバルの艦首を直撃した。沈められな
いまでも、大きな被害を予めたのは確かだ。
艦をやるというには、エアルトサすべてを
失うことになる。戦艦の場所のないエアルトサは、何となく
はなれた。アンバルから戦艦を命じるとは、戦艦が射撃
される。戦艦もエアルトサは射撃された。
なんとが戦艦を近づけずに逃げる。オドリーの
時間を逃げた。カルは思った。
■エアル
シレスは艦長を全艦隊員をあたえ、ライオン
ズの参謀本部はコンペイトウの全司令に、ゲダンの門
へ移動することを指示した。これにより、アンバルと
エアルトサはコンペイトウから離れることになった。
「別でやるぞ」
カルはエアルトサに言った。「連邦軍の戦艦は、
俺たちの実験データとコンペイトウを「エアル」に送
そうとしたらいいぞ」
「なぜそんなことを……」
「ライオンズがゲダンを狙ったという事実と許
せぬんだろ」
エアルドは名前を叫ばれて振り向いた。突然のオ
ドリーがいた。彼等の無事を後に見て、エアルドは
心からほっとしていた。

0088年11月



RX-121-2 ガンダムTR-1[ヘイズル2号機]用 緊急脱出ポッド[プリムローズ]

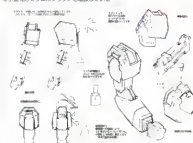
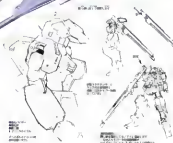
[プリムローズ]は、ヘイズル用に開発された緊急脱出ポッドである。以前、マー・ファー隊長が搭乗していたヘイズルがジオン軍残党との戦闘で大破してしまった経験から、コンバット技術本部が研究・開発を行っていた。RX-78-2ガンダムなどのコア・ブロック・システムと類似するシステムであるが、コア・ブロックは分離・合体が可能なのに対し、[プリムローズ]はあくまでも脱出機能しかついていない。そのため一度分離を行なうと、自力での合体は不可能である。一般のMSに搭載されている「イジェクション・ポッド」などの脱出ポッドには自立航行能力はないが、[プリムローズ]は簡易的な自立航行が可能のため、パイロットの生存率が飛躍的に向上する。ヘイズルのバックパックやオプション武装を装備すれば、並みの宇宙戦闘機を越える性能を発揮することも可能であり、ただの緊急脱出ポッドと隔れない拡張性の高い機体である。

オプション武装の取り付けが光子機
テスト段階の機体も、しるし方式
のメカが数多くある。機体はウ
ィンダ・ユニットになっているの
で、射出して使用することも可能。



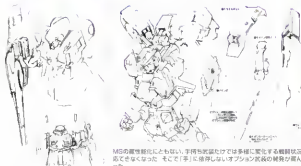
[プリムローズ]と一緒に開発されたヘイズル用の緊急脱出ポッド。オプションによる機体拡張が可能で、両アーマー・ユニットを小型化してついでにバックパックを装備している。

[プリムローズ]に拡張を施すためのオプション・バリエーション。機体拡張後のシャイブトとしての役割も、宇宙戦闘機のスラスターとしても機能する。



RX-121-2 ガンダムTR-1 [ヘイズル・アウスラ]

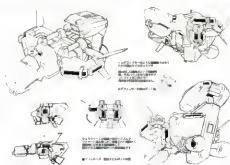
「ヘイズル・アウスラ」は、ヘイズルに緊急脱出ポッド[プリムローズ]を装備した機体仕様と呼称である。ヘイズルの機体性能を損なうことなく、パイロットおよび機体データの生存率・回収率を向上させるべく開発された「プリムローズ」であるが、開発段階からすべて「プリムローズ」へと機体改造のため、ノーマル仕様と区別するために「ヘイズル・アウスラ」と呼ばれている。高い拡張性を追求して設計された「プリムローズ」により、オプション装備などの追加装備機能がさらに充実し、さまざまな状況に応じて多彩なオプションを使い分けることが可能となった。



M5の機体性能にともない、手持ち武器だけでは多様に変化する戦闘状況に対応できなくなった。そこで「本」に依存しないオプション武装の開発が断念になった。



ミサイルポッド バイナリー 12
機のマイクロミサイルを内蔵した
オプション装備。チャフ・フレア
センサーなども内蔵しているヘイズ
ルの機体拡張を目的とした装置。



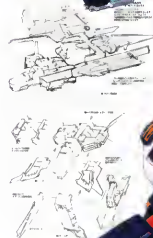
ヘイズル用の強化バックパックを装備した[プリムローズ] MS用のメインスラスターを装備することで機動性は従前の予選機動性を凌駕する。



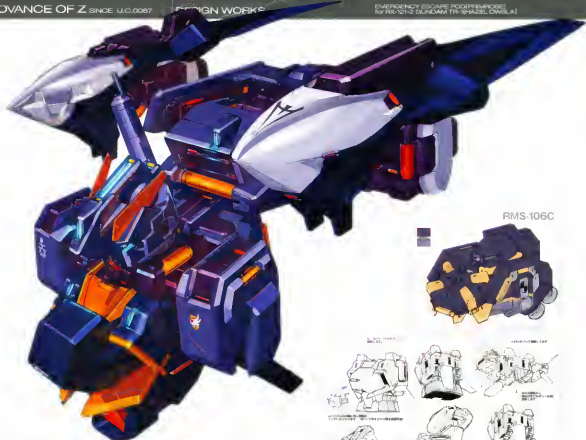
[プリムローズ]バリエーション

ヘイズル用の緊急脱出ポッドとして開発された[プリムローズ]であったが、MSと同等のコクピットを有し、オプション武装などを装備できる高い拡張性を持っていたため、さまざまなパーツのコア・ユニットとして使用することが可能であった。推進部としてはヘイズルの強化バックパックがそのまま利用でき、ヘイズル用のほとんどのオプション武装を装備することができる[プリムローズ]は、[フルド]などの強化パーツを装備すれば高性能な支援メカとしての運用が可能であった。これは[プリムローズ]本来の役割を逸脱した運用方法であったが、可能性があれば試さずにはいられないコンベイトウ技術本部のエンジニアたちによって、[プリムローズ]のさまざまな機能拡張プランが立案された。その内の概要が、美穂にマーフィー小隊による実証での運用が報告されている。

Gバグ[フルド]を装備した[プリムローズ]の支援メカ配置。拡張するパーツによって[プリムローズ]の能力はさまざまな変化する。



TR-5[ファウラー]用の強化パーツとして開発された[フルド]を装備した[プリムローズ]。そのシルエットはまるでMAMのようであり、すでに緊急脱出ポッドとしての役割はなくなっている。



RMS-106C

TRシリーズ用のオプションパーツは基本的に同一の規格で設計されており、パーツの拡張・接合は容易に行うことができる。また、TRシリーズによって得られた機体開発のデータは、ティターンズの新型MS開発に活かされており、T3部隊が担っていた役割の大きさを窺うことができる。下の2機のように機種によっては、部分的に基となった機体の面影を残している物もあり、MS開発の系譜を垣間見ることができる。

次世代量産機
(コンセプト
イメージ)RMS-154
(コンセプトイメージ)



GUNDAM X-2
SECOND FORM

Cruiser mode

1. main body is plastic kit - High Grade Universal Century
4+ 121-2 GUNDAM TR II (ADVANCED HAZE)
4. special plastic kit FF-X29A G-PARTS (HURUDUDU)
modeled by Kei Nakamura

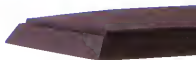
2006年2月号でイラストが掲載された「ヘイズル・ラー」のフースター機高型、クルーザーモードとも呼ばれるこの形態を中村主が製作。カラーリングも静岡建庵によるイラストに合わせて制式採用カラーで塗装を行った。

「ヘイズル・ラー」第二形態 クルーザーモードを作る



X-121

ガンダムTR-0「ヘイズル・ラー」の第二形態にRX-005キャプタン用のブースターを装着した状態。このブースターと4枚のウイング・ユニット 2枚のシールド、ブースターの推進方向をすべて一方角に揃えることで、絶大な推進力を得ることとなる「クルーザーモード」とも呼ばれるこの形態は、MSとしての大規模機動力よりも、推進性に重きを置いた前衛形態ともいえるべきものである。これにより長・市鎮距離と強大な推進力を手に入れた「ヘイズル・ラー」は、従来のMSでは想定不可能な遠距離からの単独攻撃が可能となり、その結果、推進力を活かした一撃離脱戦や、射撃力面への浸透攻撃など、特異な戦術が通行できるようになっている。





【フルド】の機首であり【ヘイズル・ラー】のテールスタビレーターとしての機能を持つセンサーユニットは、真二形態ではもう一方が脚の正面にマウントされ、補助カメフラシとして使われる。



ORX-005ギャプランのブースター 大気圏を飛翔するのにも用いられるこのブースターを使用することで、【ヘイズル・ラー】はより格闘的な作戦の遂行が可能になる



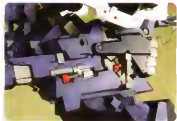
【フルド】の肩センサーユニットには、シールド・ブースター2個がマウントできるようにしており、これを個別に展開し宙中のブースターボクと合わせて、【ヘイズル】は最大3枚のシールド・ブースターを同時に使うことが可能になる。



両脚にマウントされたクロウユニットは文字通りの格闘用クロウとしてはもちろん、格闘オプション兵装のマウントラックとしても活用される。作例では下脚にあたる部分を入れ替えることで、2006年2月号に掲載されたイラストのディテールも再現した。



【フルド】のメインフレームかつ動力部。また、ヘイズルへのジョイントも兼ねており、このジョイントを使うことで、【フルド】2機が合体し、MA的な運用がなされることもある。



クロウユニットと同様に設計された推進器【ヘイズル・ラー】の脚にはヘイズル本体を制御する制御としての役割も負っており、破壊した際には廃棄される

RX-121-2+FF-X29A ガンダムTR-1【ヘイズル・ラー】 第二形態/ブースター装備 "クルーザーモード"

バンダイ 1/144スケールプラスチックキット
"ハイグレードユニバーサルセンチュリー"
RX-121-2 ガンダムTR-1【アドバンスド・ヘイズル】+
電撃ホビーマガジン2005年2月号付録
1/144スケールプラスチックキット
FF-X29A Gバスター【フルド】改造
製作:又 中村五

■「フルド」、あなたはいくつ付ける?
どうも中村です。ちなみに自分は2個でもお揃い一対です。
(笑) というわけで、今回は「ヘイズル・ラー」第二形態です。
【アドバンスド・ヘイズル】にフルドのミニ・シールド・ブースター+デタッチャブルブースターの豪華装備です(金額的には)。

個人的に、A.D.Z. はアンシーとハイバック登場という楽しみだったので、まさかヘイズルが最終形態に見えようとして、完全に塗りつぶしてました(笑)

さて製作ですが、キットの出来はいいから言うまでもありませんが、「ヘイズル」は新機種のチェックも受けたベストロボーション。【フルド】も細部をシンブルにすることで機体細部をイロイロと取り付け方が考えられ、ちょっとしたブロッコリーのような感じでも面白かったです。ただ「ヘイズル」に【フルド】を2機以上付けると重なり状態、ヘイズルがフルドに追いついてしまい、機体側の前にこぼれやすくなる印象になる気がします。

そこで、そうしたタイトな隙間を解消するため、機体側行いでは絶対にやらないうろヘイズルの長距離延長を行い、「フルド」(後述)にバネーションに仕立ててみました。

各機体の延長は、腰部分2ミリ、太もも3ミリ、ヒザで3ミリ、上腕で1.5ミリ、それらを組みました。また、肩・アーマーは3ミリ間にするため、付け過ぎのラインをブツ切で修正し、関節への取り付け方法も変更。前後にクランプ用ピンが小さく感じられたため、こども機種の延長を行いました。

フルドのウイング・バインダーは、ジャンクハウスの機体を利用して、ウイングがより外側に折り付けられるように修正。クロー・ユニットはより大きく動かせるように機体アームを修正し、ヘイズル本体のサイドアーマー・肩コリバーにつなげました。

ロングブレード・ライフルの取り付けは、一部ユニットを切り替えて修理し、2月号のイラストにあったメカ部を新造。下腕を差し替えて関節を再現してあります。

シールド・ブースターは、センサー・ユニットに取り付けた2枚が左右でつながるよう、取り付け部をユニットの上面に変更。接続部を市販のボールジョイントに替えて動かせるようにしました。

パーツの延長や可動部の追加などで、各ユニット間に適度な隙間ができて、全体的にバランスはよくなったと思います。しかし、いかがでしょうか? それでは



■PROFILE
なかむら けい キット改造での機体ディテールの再現性の高さは「カキ」 遠征 新造 機体の切り替えるシンブル効果になると、何々と作業をしながらもこんなモンになるか(笑)と喜びが (Zガンダム古いガブスレ)



カラーリングデータ

- 1 脚: 226番・ブルー-FS15044
- 2 背: 87番・パープル+80番・コリドブルー+1番・ホワイト+2番・ブラック
- 1 脚: 4番・イエロー+173番・黄光オレンジ
- 4 背: 60番・モンパッチ
- 5 白: 1番・ホワイト+173番・黄光オレンジ+172番・黄光イエロー
- 5 グレー: 2番・ブラック+18番・シルバー

※すべてGS(クレオスのIMCカラー)を使用。

「HGUC アドバンスド・ヘイズル」を 小改造でステップアップさせる。

2005年11月に発売された「HGUC アドバンスド・ヘイズル」。
単なる「ヘイズル」の底彩色替えにとどまらず、
新型ブースター・シールドやサブ・アーム・ユニット、
強化型センサーユニットなど追加した内容となっている。
今回はこの「アドバンスド・ヘイズル」に小改造を加えてステップアップさせてみた。



2005年11月発売 価格：1,880円(税込)
発売元 バンダイホビー事業部



PX-121-2A
AMTR-1
ADVANCED HAZELL

1/144 1/144 1/144 1/144
1/144 1/144 1/144 1/144
1/144 1/144 1/144 1/144

「HGUCヘイズル改」に 合わせて 大気圏内飛行用ユニット [イカロス]を新造する。

本誌で初めて描かれることになる

「3部作の最終的な対エコーゴッグ戦に際し編み組けた。

かつての宿敵、ガブリエル・ジラの両軍に敗北。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

敗戦後、敗戦した「アムロ・バネ」など。

RX-121-1 ガンダムTR-1 [ヘイズル改]用飛行ユニット [イカロス]

一年戦争当時、ジオン軍が進めていた「大気圏内での飛行可能なMS」の研究は、戦後に連邦軍に引き継がれた。可変MA、NRX-044の完成により、飛行MSの実用性には疑問が投げかけられたが、可変MAといえど、MS形態での滞空時間はさほど長くなかったことから研究は続けられ、そのデータ収集のための様々な実験が行われた。ヘイズル改に装備された飛行ユニット「イカロス」は、強力な熱核ジェットエンジンを複数使用することで、推力を得る設計になっている。実際の戦時ではSFS（サブ・フライト・システム）の搭載が必要だが、従来機に比べその空戦能力は飛躍的に向上した。

RX-121-1
GUNDAM TR-1
HAZEL CUSTOM
FOR FLIGHT (ICARUS)

Copyright © 1995, 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 2680, 2681, 2682, 2683, 2684, 2685, 2686, 2687, 2688, 2689, 2690, 2691, 2692, 2693, 2694, 2695, 2696, 2697, 2698, 2699, 2700, 2701, 2702, 2703, 2704, 2705, 2706, 2707, 2708, 2709, 2710, 2711, 2712, 2713, 2714, 2715, 2716, 2717, 2718, 2719, 2720, 2721, 2722, 2723, 2724, 2725, 2726, 2727, 2728, 2729, 2730, 2731, 2732, 2733, 2734, 2735, 2736, 2737, 2738, 2739, 2740, 2741, 2742, 2743, 2744, 2745, 2746, 2747, 2748, 2749, 2750, 2751, 2752, 2753, 2754, 2755, 2756, 2757, 2758, 2759, 2760, 2761, 2762, 2763, 2764, 2765, 2766, 2767, 2768, 2769, 2770, 2771, 2772, 2773, 2774, 2775, 2776, 2777, 2778, 2779, 2780, 2781, 2782, 2783, 2784, 2785, 2786, 2787, 2788, 2789, 2790, 2791, 2792, 2793, 2794, 2795, 2796, 2797, 2798, 2799, 2800, 2801, 2802, 2803, 2804, 2805, 2806, 2807, 2808, 2809, 2810, 2811, 2812, 2813, 2814, 2815, 2816, 2817, 2818, 2819, 2820, 2821, 2822, 2823, 2824, 2825, 2826, 2827, 2828, 2829, 2830, 2831, 2832, 2833, 2834, 2835, 2836, 2837, 2838, 2839, 2840, 2841, 2842, 2843, 2844, 2845, 2846, 2847, 2848, 2849, 2850, 2851, 2852, 2853, 2854, 2855, 2856, 2857, 2858, 2859, 2860, 2861, 2862, 2863, 2864, 2865, 2866, 2867, 2868, 2869, 2870, 2871, 2872, 2873, 2874, 2875, 2876, 2877, 2878, 2879, 2880, 2881, 2882, 2883, 2884, 2885, 2886, 2887, 2888, 2889, 2890, 2891, 2892, 2893, 2894, 2895, 2896, 2897, 2898, 2899, 2900, 2901, 2902, 2903, 2904, 2905, 2906, 2907, 2908, 2909, 2910, 2911, 2912, 2913, 2914, 2915, 2916, 2917, 2918, 2919, 2920, 2921, 2922, 2923, 2924, 2925, 2926, 2927, 2928, 2929, 2930, 2931, 2932, 2933, 2934, 2935, 2936, 2937, 2938, 2939, 2940, 2941, 2942, 2943, 2944, 2945, 2946, 2947, 2948, 2949, 2950, 2951, 2952, 2953, 2954, 2955, 2956, 2957, 2958, 2959, 2960, 2961, 2962, 2963, 2964, 2965, 2966, 2967, 2968, 2969, 2970, 2971, 2972, 2973, 2974, 2975, 2976, 2977, 2978, 2979, 2980, 2981, 2982, 2983, 2984, 2985, 2986, 2987, 2988, 2989, 2990, 2991, 2992, 2993, 2994, 2995, 2996, 2997, 2998, 2999, 3000, 3001, 3002, 3003, 3004, 3005, 3006, 3007, 3008, 3009, 3010, 3011, 3012, 3013, 3014, 3015, 3016, 3017, 3018, 3019, 3020, 3021, 3022, 3023, 3024, 3025, 3026, 3027, 3028, 3029, 3030, 3031, 3032, 3033, 3034, 3035, 3036, 3037, 3038, 3039, 3040, 3041, 3042, 3043, 3044, 3045, 3046, 3047, 3048, 3049, 3050, 3051, 3052, 3053, 3054, 3055, 3056, 3057, 3058, 3059, 3060, 3061, 3062, 3063, 3064, 3065, 3066, 3067, 3068, 3069, 3070, 3071, 3072, 3073, 3074, 3075, 3076, 3077, 3078, 3079, 3080, 3081, 3082, 3083, 3084, 3085, 3086, 3087, 3088, 3089, 3090, 3091, 3092, 3093, 3094, 3095, 3096, 3097, 3098, 3099, 3100, 3101, 3102, 3103, 3104, 3105, 3106, 3107, 3108, 3109, 3110, 3111, 3112, 3113, 3114, 3115, 3116, 3117, 3118, 3119, 3120, 3121, 3122, 3123, 3124, 3125, 3126, 3127, 3128, 3129, 3130, 3131, 3132, 3133, 3134, 3135, 3136, 3137, 3138, 3139, 3140, 3141, 3142, 3143, 3144, 3145, 3146, 3147, 3148, 3149, 3150, 3151, 3152, 3153, 3154, 3155, 3156, 3157, 3158, 3159, 3160, 3161, 3162, 3163, 3164, 3165, 3166, 3167, 3168, 3169, 3170, 3171, 3172, 3173, 3174, 3175, 3176, 3177, 3178, 3179, 3180, 3181, 3182, 3183, 3184, 3185, 3186, 3187, 3188, 3189, 3190, 3191, 3192, 3193, 3194, 3195, 3196, 3197, 3198, 3199, 3200, 3201, 3202, 3203, 3204, 3205, 3206, 3207, 3208, 3209, 3210, 3211, 3212, 3213, 3214, 3215, 3216, 3217, 3218, 3219, 3220, 3221, 3222, 3223, 3224, 3225, 3226, 3227, 3228, 3229, 3230, 3231, 3232, 3233, 3234, 3235, 3236, 3237, 3238, 3239, 3240, 3241, 3242, 3243, 3244, 3245, 3246, 3247, 3248, 3249, 3250, 3251, 3252, 3253, 3254, 3255, 3256, 3257, 3258, 3259, 3260, 3261

RX-121-1 ガンダムTR-1[ハイスル改]+ 大気圏内飛行ユニット[イカロス]

バンダイ/1/44スケールプラスチックキット

「ハイレッドユニバーサルセンチュリー」

RX-121-1ガンダムTR-1[ハイスル改]改造

製作・文 剣水定

■またが またなの が?

本誌2006年9月号で「HGUCに合うものを機体がハイエント座として作れるかも」など書いたのですが、結局僕が担当することになりました(笑) さて2度目となると前回は手の込んだものを作らねば、という焦り感があるのですが、幸い、前回は2枚の絵しかなかったのに対して今回は参考になるイラスト、設定等もある程度出そろったので、よほどまとまりのいいものを作ることができたかと思えます。では解説へ

■製作

基本的には全身はプラ板の組み込み、両肩の前後の装甲の複雑な彫刻は、切り出したプラ板に「アルテコBBP+HQ」を塗るにつけ削り出して再現。左右分1枚ずつ作り、裏面に4枚をろうせました。今回は彫刻が磨き込まれるよう、両肩板が深く彫り込みにあります。

肩上面の側面部分は、製作では前後の彫刻が深すぎたので(前は前作はハイスルの機アーマーをはずすと深いと裏が露出できなかったことは内緒だ)、今回は「Gタンク(シートS)」を使用して前後に浅くしました。さらにここは前後の両方にBS0を彫り込まれたとあったので、ウェーブの「Gタンク」を加工して内装。

機体側の両肩の間に腕石をこめ、機アーマー裏にビスを差して関節部の安定性を確保しました。両肩の巨大バニーアとその下の板も可動式に。

前回はただの「穴」として彫刻した色のリベット状モデルも今回は再現。まずペンバイスで0.7ミリの穴を開け、その入り口付近を1ミリのドリルで軽くさらいます(これで入り口が1ミリ幅、奥が0.7ミリ幅という穴が開きます)ここから1ミリのプラ棒を差し込めば、接着剤が乾燥したら表面を磨いて完成です。

いよいよ本機に登場した「ファイバー」との軌演が楽しみですね、それではまた。

■PROFILE

いみず・ひびき 本誌でも数回の可動マスター、近3年連続していたテストデッキがとうとう壊れたので400円のOVO/コーダーを購入。その使用にはあてられてしまうのでした。最近の作業はとうとう60%程度になっているのでね。(「Zガンダム」のサイコガンダムMK-II)

1ブルー 82番・コバルトブルー 50%+37番 RLM75
グレイバイオレット 25%+1番・ホワイト 15%+85番 モ
ンテレッド 10%
2ターコイズブルー 71番 サッドアイブルー 80%+80番・
コバルトブルー 20%+1番・ホワイト 15%+85番・モン
テレッド 5%
3グレー 306番・グレイシ33270 50%+13番・ニュー
トラルグレー 10%+1番・ホワイト 40%



4レッド 86番 モンテレッド 80%+1番・ホワイト 20%
※上記の4番はそれぞれ1番 赤ホワイトを加えて明度を上
げたものでホワイト塗装。
5イエロー
[下側] 55番・オレンジ 80%+1番・ホワイト 20%
[ハイレイト] 55番 濃黄色 70%+1番・ホワイト 30%
※すべてはクレオスの「Mr.カラー」を使用。



6ブルー 82番・コバルトブルー 50%+37番 RLM75
グレイバイオレット 25%+1番・ホワイト 15%+85番 モ
ンテレッド 10%
7ターコイズブルー 71番 サッドアイブルー 80%+80番・
コバルトブルー 20%+1番・ホワイト 15%+85番・モン
テレッド 5%
8グレー 306番・グレイシ33270 50%+13番・ニュー
トラルグレー 10%+1番・ホワイト 40%



9レッド 86番 モンテレッド 80%+1番・ホワイト 20%
※上記の4番はそれぞれ1番 赤ホワイトを加えて明度を上
げたものでホワイト塗装。
10イエロー
[下側] 55番・オレンジ 80%+1番・ホワイト 20%
[ハイレイト] 55番 濃黄色 70%+1番・ホワイト 30%
※すべてはクレオスの「Mr.カラー」を使用。



■機体

TR-1[ファイバー]
やTR-1[サンダー]
タイプに搭載され
る機には両肩の背
蓋ユニットがたまた
まにあるようになって



■機体

機体ジェットエンジンが搭載された両肩の背蓋に付けられた背蓋は、
MS時の攻撃の際に胸の動きを妨げないよう、前後に開閉する

主推進となる巨大
なリアスターは
機体側のスラスター
と連結されて、
MSを飛行させるた
めの巨大な推力を
発生する。



■機体

機体前面には巨大な出力が確保されたジェネ
レーターが搭載されている。両肩ユニット前
面の板は飛行時には可動板として機能する。



カラーリングデータ



ガンダム TR-6 ファイバー

2005年8月号で初めてその名前が登場したT3部隊の最新鋭機、TR-6「ファイバー」
 今回のストーリーパートでようやくその性能の一端が明らかとなった。
 次回はゾラが所属するカラバの部隊との戦績も見られるはずだ。
 今回はこの「ファイバー」の全貌を立体物で公開。
 「HGUCギャプラン」を基準に、空山竜司が手掛けた超大型モデルをご覧いただこう。

ギャプランTR-5[ファイバー]、遂に完成!



ORX-005 キャプラン TR-5[ファイバー]

その名が示すとおり、オーグランドのニュータイプ研究所が発見を行っていた可変MA、ギャプランがベースになっているが、T3部隊によって大規模な改修が施されている。その基本的なコンセプトは“機体構造による超音速巡航”にあり、旧世紀に開発されたICBM(大陸間弾道弾)と同様、地上から一度大気圏外に離脱。そのまま再突入軌道に入り、引力の作用によって得られる強大な加速をもって目標地所へと到達する。この時、機体は音速不可知な速度まで加速するため、従来兵器ではその追撃を阻止することはできないとされている。そして、TR-5[ファイバー]とICBMとの決定的な違いは、目標地所への到達後に、機動兵器としての柔軟性を活かしたよりピンポイントな破壊活動が行える点にある。この点からも、最高音速機として開発されたギャプランがベース機として選ばれたというのがうなずけるだろう。実際にマザーフリー小隊が行った作戦では、北米のネバダ基地からの発進となった。



【ファイアー】の主要武器。迎撃用のミサイルを撃退するための鉄壁。通常はカパーが掛けられているが、使用時にはカパーは弾薬庫となる。



機体両脇前面に配備されたフィール・ジェネレーター。迎撃用の対ヒム兵器搭載が主な目的だが、大気圏突入の際の機体の経路にも利用される。



ギャブラン本体のセンターアーマーに固定されている機首センサー。西端センサーの両端より、上蓋には十字状のモノアイユニットも掛けられている。



迎撃ヒム用のためのEバックリッター、Eバックそのものは、通常のヒム兵器と同じ仕様のもとなっており、出力を維持するため大量に使用される。



機体両側面にあるバンダーには【ヘイズル】や【キハール】と同様のデザインの吹き出しが掛けられている。



フィール・ジェネレーターとバンダーを繋ぐアーム。大気圏突入後のエアーブレーキとしてバンダーを動かすためのものと見られるが詳細は不明。



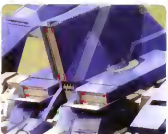
大気圏突入時に機体全体を冷却するためのフィール発生器。【ファイアー】の機体下面に掛けられており、稼働した2機のMSまでフォローできる高出力のもの。



下面のバンダーはプロペラントタンクを兼ねたメインスタターとなっており、宇宙空間はもとより、大気圏内で飛行するための巨大推力を生み出している。



【ファイアー】本体とバンダーを繋いでいるのは【キハール】にも使用されているドラム・フレームを大型化したもの。これを使ってバンダーを動かすようになっている。



【ファイアー】の機体上面には、235部品の機体共通で使用されている新型ジェネレーターが3基設置されている。



【ファイアー】のコア・ユニットでもあるギャブランを保護するため、機体前面には大型の装甲が掛けられている。



ORX-005 キリウス TR-5 ファイバー

オーランドのニュータイプ研究所が開発を行っていたギャプランをベースに、T3研究所が大幅な改良を加えた機体。永年ギャプランは高機動性を目的に開発された可変MAだが、「ファイバー」は、その高機動性をさらに高めるために、超重力に耐えられるICBM（大気圏外弾頭）と同様、地上から一瞬大気圏内に突入し、その重力場を突入軌道に入り、引力の作用によって降られる強大なエネルギーによって自機からへと到達することが可能になっている。この時、機体は超重力に耐えられず破壊されるため、従来兵器ではその使用を阻止するのは不可能とされている。そして、TR-5「ファイバー」とはICBMとほぼ同様の性質は、超重力場への到達時に、M2000型に変わって、機体兵器としての運動性を活かしたよりポイントな破壊活動を行える点にある。そうしたことでも可変MAとして高い完成度を持つギャプランが「ファイバー」のベース機として使用されたこともうなずける。

ギャプランTR-5[ファイバー]、MSに変形完了!



2006年1月号でMA形態の作例が掲載されたギャプランTR-5[ファイバー]。

今回のストーリーパートでは速にそのMS形態が登場。

次回からはヘイズルとともにさらなる活躍を見せてくれるはずだ。

今回はこの「ファイバー」のMS形態の作例を公開。

「HGUCギャプラン」を基準に、MA形態から一部のパーツを差し替えることでMS形態が再現されている。

製作はもちろん空山竜司。中央のギャプランと比べれば明らかな、この超大型モデルをご覧ください。



MS形態での空中でのホバリングを行う際には、1フィールド・ジェネレーターが上下に分働する。それぞれに同数のジェネレーターが付属しているが、出力が十分なため、この形態のままでフィールドを発生させることは困難なように。

TR-5のベースとなったギャブリンの頭部に「ヘイズル」シリーズと同様の保護センサー・ユニットを装着。さらにVアンテナが付けられている。



ドラムフレームは本体側から2本、バインダー側から2本の合計4本のアームで構成されているが、ヒジと接続されたアームはMS形態に脚の動きを妨げない機構になっている。

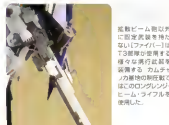
アッシマー・TR-2(キハル)などにも使用されたT3部等独自のドラム状のフレーム・ユニット。ムーバブル・フレーム以前の圧縮力、その信頼性は高い。

【ファイバー】の主要武器としてバインダー背面に付けられた固定武装。空対空攻撃というより浮遊の遊撃スタイルを撃つための装備だといえる。



MA形態では機首の一部を構成するセンサー・ユニットは、MS形態にはセンサー・アームの位置に據られることになる。それにより、正面に配置された十字レールのモノアイは各種敵甲に撞かれて視界が制限される状態を補助する役割を担っている。

【ファイバー】のMS形態を支える機体背面に集約したメインレール。重力下でも何本の脚の内蔵や未重量を支えることができるほど堅牢な構造になっている。



カムチャッカ基地制圧戦で採用されたツイン・シールド。「フルト」のパーツの一部を用いたもので、両側に装備すれば大出力ブースターとしても使用可能。また、防弾板である追加アーム・シールドを用いれば、銃弾としても運用できるようになっている。

近接ビーム砲以外に固定武装を持たない【ファイバー】は、様々な飛行兵器を撃つ。カムチャッカ基地の制圧戦では、このロングレンジ・ビーム・ライフルを使用した。

ORX-005

ギャランTR-5[ファイバー]

1/144スケールスクラッチビルド
製作 文 山本早明

ようやくお披露目の「ファイバー」MS形態で
ご紹介します。

この機体が変形するということは発案当初か
ら知らされてはいたものの、MA形態の納品から
しばらくして送られてきた変形後の設定画を見
てはしほ家宛。
「フィールド発生器が割れるんかい!」、「ライフ
ルとシールドはどこにあったんじやい!」とラフ画
にはなかった設定ばかりで突っ込みたいところ
が満載(笑)。それでもこのデザインに惚れてる
ワケなので、一所懸命に製作開始です。

■バランス調整に四苦八苦

ますなによりも苦勞したのがバンダー接続
部(ドラムフレーム)の強度確保。MA形態の場合、
見えない部分も多いので太いシンチュウパイプ
2本で固定できたのですが、MS形態ではパイプ
が自立してしまいます。そこでバンダーを設定
の放射状に合った位置で固定するため、基部
をまるごと新造。

またドラムフレームの位置もMA時とは異なっ
ており、さらにバンダー4枚を独立して吊らな
いといけなかったため、シンチュウパイプをどこ
に透すかで悩みました。

好余供許あってなんとか完成。撮影の間はな
んとか持ちこたえたんですが、イベントとがで
一日中展示できるかどうかはちょっと微妙です。(真
のキャラホビでは展示します)

■パーツ総数更新!

MA形態ではパーツ数約600点と書きました
が、今回さらに新規の約300パーツを加えて総
パーツ数約900点というパーフェクトグレード
並みのパーツ数になってしまいました。これは A
O Z のCG特撮に対応するため、いつでもMA
形態に換えるようにしなければならなかったた
めですが、一度完成した作品をシリコンに込め
るのは何ともわびしいものでした。

■塗装

MA形態の納品時は時間がなかったこともあ
り資料を覗いただけの準備を感じになってしま
っていたので、今回はデカールに加えてウォッ
キングなどの汚し塗装を施して面の情報量を増や
してみました。大気圏突入をした機体なのでけ
ごう派手目によってほめたものの、「お前にはド
ライバらし様座をやらんとダメだな〜」と初代に
一喝されてしまいましたとさ(笑)。

■PROFILE

モビルスーツ 本誌最速の(7)ハイパーモビラー
の「ファイバー」、まわりからは「キャラホビ」で売れ
てよく売れますが、全盛期がとんでもないにたまって
しまいすぎて最大でやるにはさすがに難しいかも。その前
に全速のリンクをしないこと、詳しくはなんぼら置い
て、はカンタンなリンク・ティアス(クワトロカラー)に

カラーリングデータ

- ①白「ガンダムカラー」・ホワイト5+67番 パール
銀少量
- ②青「ガンダムカラー」・ブルー23 80%+67番 ハ
ープル・20%+3番・レッド少量
- ③黄「ガンダムカラー」・ブルー11 80%+67番 ハ
ープル・20%+1番・ホワイト少量
- ④グレー 13番・ニュートラルグレー・70%+42番
マカニ〜30%
- ⑤オレンジ 108番 キラクターイエロー+171番
黄・レッド少量
- ⑥スミ入れ「タミヤエナメルカラー」・XF-48カーキ、XF-
59黒・レッド
- ⑦スミ入れを施さず、すべて881クレオスの「Mr.カラー」
および「ガンダムカラー」を塗布。





ギャプランTR-5、飛翔!



2006年5月号でMS形態の作例が掲載されたTR-5(ファイバー)。
ストーリーパートでは、ファイバーユニットをすべて搭載したコア部分。
ギャプランTR-5が登場し、ソラの乗るアッシュマーとドッグファイトを繰り広げた。
今回はこのギャプランTR-5の作例を公開。「ファイバー」で使ったギャプランTR-5ではなく、
「HGUCギャプラン」をベースに新たに作り起こされたものである。
製作はもちろん空山竜司。顔部分は「ファイバー」用のものを複製して使用した。



ORX-005 ギャプランTR-5

オーランドのニュータイプ研究所が開発を行っていたギャプランをベースに、『ファイバー』のコア・ユニットとして自機が認められた可変式人形。基本的な仕様はギャプランと同様だが、ギャプランの両腕に搭載されているムービー・プロジェクターは、カラー・プロジェクターに換装されている。これはムービー・シールド・ハイパーの威力力に匹敵する強力な「G」を軽減し、強化人間でなくともギャプランを使うようにするための補償である。この機体による可変機への転換はほとんどなく、ヘース機と同様、状況に応じた形態での運用も可能である。



ORX-005 ギャプランTR-5

バンダイ 1/144スケールプラステックキット
 “ハイグレイトユニバーサルセンチュリー”
 ORX-005 ギャプラン改造
 製作・文 空山竜司

今西がエビローグになるのか? 3体の「ファイバ」でございます。設定では戦前での戦況状況に陥った場合に、強引にパーツを組み立ててこの状態になるそうですが、あの武装を持っている限りよほどのことがない! 今西のストーリーに期待ですね。

さて、このギャプランTR-5ですが、MA形態を作り始めた当初から、コアMSはキットのままにしておけば良かったのですが、変更案ともに、それぞれの形状に合わせず改造してしまっていたので、結果3体のギャプランTR-5を作ったことになってしまいました。

さらに3体で発表したもの以外の補修時の試作も合わせれば「HGUCギャプラン」は、最低でも8体は作ったはず。おかげで組立説明書を見なくても余裕で組み立てることができました(笑)。

一見すると「HGUCギャプラン」に「ヘイズル」のシールド・ブースターを付けただけに見えるが、実は細かな変更点がアツチにあります(みなさんが作る場合はあまり細部を気にせずに作ってみてください)。代表的なのは背中の中のスラスター前方のディテール。ここはヘイズルのブースター・ボッド前面に似せてあります。シールド・ブースターの運用法という、藤岡さんのこうしたアイデアには、毎度ニヤリとさせられます。藤岡は前回の作例を複製したものに、最新の設定に合わせて小加工を施しています。

キットのシールド・ブースターは設定よりも小さく見えたので大型化しようと思ったんですが、それでは大改造になってしまいます。そこで、上層を加工して胴全体を短く改造して、シールドが大きく見えるようにしてみました。

■PROFILE

キャプテン・リョウジ、本名は東条の「ハイパーカモデラー」近辺。下半身の装甲が心算なかった「ZKADYA」の「ブレイクエーダー-KZ」の「パンクライト」を輸入、これで高価な「Zスラスター」を複製されます(※)。「Zガンダム」の「リッターデイズ」(クワトロカラー)。

カラーリングデータ

- 1 白「ガンダムカラー」ホワイト+67番・ブルー・極少量
- 2 黒「ガンダムカラー」ブルー+14
- 3 グレー 13番 ニューラルグレー(70%)
- 4 40番・マゼンタ(30%)
- 5 オレンジ 105番 赤ラウターイエロー
- 6 171番 黄光レイト少量
- 7 スピネル
- 8 タミヤエメラルカラー XF-40カーキ、XF-91 レッド



TR-5

TR-5のヘイズルとなったギャプランの顔部に「ヘイズル」シリーズと同様の調整センサーユニットを装着。さらにVアンテナが取り付けられている。MA形態ではこのアンテナははたまたま調整センサーに置き換わる。



ヒズのアームにはヘイズルとは異なる、シールド・ブースターが取り付けられている。「実用」のキットでも追加加工で変更が可能だが、ブースター・シールドの接続ピンを延長してよくとらねよう。



外観的にはヘイズルと同じように見えるメインスラスターだが、内部のエンジンユニットは、T型エンジンの改良機と同等の構造。ジェット・ロケットエンジンになっている。



ギャプランTR-5の全身には補給スラスターが追加装着されている。これらは大気圏内ではなく宇宙空間での機体運用を前提に増設されたものと思われる。

ギャプランTR-5はこのロングレンジ・ビーム・ライフルの使用が可能。MA時には、機体下面にマウントして使用する。



RX-107[ロゼット]の強化陸戦形態【試案】を立体化する。



BANDAI 1/144 scale plastic kit
 "High Grade Universal Century" RX-108 MARASAI
 modeled by Tatsuya Yonezu

TR-4 [タンディライアン]のコアMSであるRX-107は、
 その外見の特徴から、RX-108マラサイとの関係が指摘されていたが、
 設定上は別の機体となっている。そのため、これまでは型式番号が与えられていたのみだったが、
 ようやく機体愛称が「ロゼット」に決定した。今回はそれを記念して
 「ロゼット」の強化陸戦形態(試作プラン)を製作。米津版誌がジャンクパーツを駆使して、完成させている。

RX-107 [ROSETTE]



RX-107 [ロゼット] 強化陸戦形態 [試案]

本形態は、TR-4[ダンディライアン]のコアMSとして、T3部隊に配備されたRX-107に、オプションパーツを装した強化陸戦形態の試作プランである。強化陸戦形態とは、推力強化を主眼としたオプションパーツを装備することで、地上での高速ホバー移動を可能とするプランである。一年戦争のMS-09のように、脚部による“歩行”に依存しないため、地上での高速戦闘能力に秀でており、短時間に戦力を集中投入する必要がある拠点制任務戦用として考えられていた。しかし、コンバート技術本部のオプションパーツ開発プランの比重が、ヘイズルのイカロス・ユニットをはじめとする飛行ユニットへとシフトしていったため、RX-107の強化陸戦形態用パーツはペーパープランのみで、現実には生産されることはなかった。なお、RX-107の[ロゼット]という呼び名は、T3部隊内での機体愛称であり重およびディターンズにおける正式名称ではない。

RX-107 [ロゼット]強化陸戦形態【試案】

バンダイ1/144スケールプラスチクノット
“ハイグレードユニバーサルセンチュリー”
RX-106マラサイ改造
製作・文 米朝信

皆さん、こんにちは。今回は、今週はA.O.Z 版マラサイこと、RX-107(愛称は[ロゼット])をもう一つの陸戦強化形態で

です。
設定上、この改修はヘーバークラシと、製作段階ではアフリカや中東を舞台とした、そのために、海軍機や空軍機に比べて自由になりやすいと書かれたので、[HGUCマラサイ]をベースに、機体、シヤングハーツを使って、ミキシングビルドを試みました。ハテヤブラ機を使ってのスクラッシュはハートルが高いと感じている方も多いと思いますが、こういった作りなら、センス次第で面白いものができるとは思いますよ

■機体
市販ハーツでモノアイ部を作り直し、動力パイプはニール直線のアルミ線に変えました。ヘルメットの裏面部分は[HGUCシヤ]のスタビライザーです

■腕部
腕部は[HGUCマラサイ]のものに、[HGUCセクアイ]の肩関節部を取り付けてエポキシで繋ぎ
フロントスカートは、シヤングハーツの甲に合った[PGゼータ]のヒザアーマーと[MSゼータプラス]の前腕部です。タンクはプラパイプと市販ハーツの組み合わせです。[アスカ]は[MSガンダム]の腕部フレームを、[1/60 V2ガンダム]と[HGUCセクアイ]の腕アーマーで組み、[1/100ヘルギス]の腕アーマーでデカレート。ハニーアームは[HGUCアッシュ]の上腕部です。サイドアーマーは[ハイドラガンダム]のものをそのまま使っています

■ハートのバックは[1/100ガンダムサントロク]のものを使用。足指ラックのライフルは、これもシヤングハーツの[HGUCガンダムMk-II]のライフルを、ショートバレルにして改造しました

■脚部
右足のディテールを愛着している程度です。右足のシールドは折り曲げた状態で固定しています。右前足はライフルと[HGUCアッシュ]から活用しました。左上腕のシールドは[HGUCステイン]の[バット]の中皮部を使用しています

■機体
ヒザとフロントスカートの干涉を避けるために太モを削り、角度を付けて再塗装。ヒザのインデックは[PGゼータ]のカカをベースに市販ハーツで形成。フクラハーツのスラスターには[1/100ヘルギス]のブースター外装ハーツを流用。あと、テルヘビーなものを、シリモチをつかきのように、ソールハーツに彫刻を仕込みました

■PROFILE
よなつこや、高松新佐 立派「アストレイ」メタ
スに、製作期間11月の[1/100ゴールドフレームエミ
ナ]が模範とされてます。よかつら見てください。[Zガン
ダム]の[ガンダムMk-II]のカラー]



※試案には、RX-044アッシュのヒーム・ライフルが使用されて
いる、これは火力が高く、地上の前部射圧に即ち威力を発揮する
ために採用されたものである。



機体後部に装備された大推力スラスター。強化高機動の高速スハ
ー移動は、このスラスターに依存している、ほれ、このスラスターは、
空定であれば短時間の高機動が可能となるほどの威力を発揮する。



初期のRX-107と
比べ、後部のフ
ラハーツが大型化
しているのが特
徴である。このフ
ラハーツの大型
化により、高機
動とともに高機動力
を発揮している。



フロント・スカート
アーマーに取
り付けられた大
推力スラスター
は、高機動の
スラスターは、
高機動を維持する
ために、このス
ラスターは、
高機動スラスター
が必要となる



脚部のフクラハ
ーツ部分にも、
オプション
ハーツの追加
スラスターが
追加されている。
これは、
ハイドラの脚部
に標準装備されて
いるものと同様の
独立型スラスター
ユニットとなっ
ている



バンパに取付けられたウェポン・マウント。制作段階では高機動
と集中した火力を投入する必要があるため、弾切れや作動不良に備え
て予備の銃装を備えるようにウェポン・マウントが追加されている

カラーリングデータ

- 1 フルー・80番・コバルトブルー
- 2 1番・ホワイト
- 3 2番・グレイ
- 4 3番・グレイ
- 5 4番・グレイ
- 6 5番・グレイ
- 7 6番・グレイ
- 8 7番・グレイ
- 9 8番・グレイ
- 10 9番・グレイ
- 11 10番・グレイ
- 12 11番・グレイ
- 13 12番・グレイ
- 14 13番・グレイ
- 15 14番・グレイ
- 16 15番・グレイ
- 17 16番・グレイ
- 18 17番・グレイ
- 19 18番・グレイ
- 20 19番・グレイ
- 21 20番・グレイ
- 22 21番・グレイ
- 23 22番・グレイ
- 24 23番・グレイ
- 25 24番・グレイ
- 26 25番・グレイ
- 27 26番・グレイ
- 28 27番・グレイ
- 29 28番・グレイ
- 30 29番・グレイ
- 31 30番・グレイ
- 32 31番・グレイ
- 33 32番・グレイ
- 34 33番・グレイ
- 35 34番・グレイ
- 36 35番・グレイ
- 37 36番・グレイ
- 38 37番・グレイ
- 39 38番・グレイ
- 40 39番・グレイ
- 41 40番・グレイ
- 42 41番・グレイ
- 43 42番・グレイ
- 44 43番・グレイ
- 45 44番・グレイ
- 46 45番・グレイ
- 47 46番・グレイ
- 48 47番・グレイ
- 49 48番・グレイ
- 50 49番・グレイ
- 51 50番・グレイ
- 52 51番・グレイ
- 53 52番・グレイ
- 54 53番・グレイ
- 55 54番・グレイ
- 56 55番・グレイ
- 57 56番・グレイ
- 58 57番・グレイ
- 59 58番・グレイ
- 60 59番・グレイ
- 61 60番・グレイ
- 62 61番・グレイ
- 63 62番・グレイ
- 64 63番・グレイ
- 65 64番・グレイ
- 66 65番・グレイ
- 67 66番・グレイ
- 68 67番・グレイ
- 69 68番・グレイ
- 70 69番・グレイ
- 71 70番・グレイ
- 72 71番・グレイ
- 73 72番・グレイ
- 74 73番・グレイ
- 75 74番・グレイ
- 76 75番・グレイ
- 77 76番・グレイ
- 78 77番・グレイ
- 79 78番・グレイ
- 80 79番・グレイ
- 81 80番・グレイ
- 82 81番・グレイ
- 83 82番・グレイ
- 84 83番・グレイ
- 85 84番・グレイ
- 86 85番・グレイ
- 87 86番・グレイ
- 88 87番・グレイ
- 89 88番・グレイ
- 90 89番・グレイ
- 91 90番・グレイ
- 92 91番・グレイ
- 93 92番・グレイ
- 94 93番・グレイ
- 95 94番・グレイ
- 96 95番・グレイ
- 97 96番・グレイ
- 98 97番・グレイ
- 99 98番・グレイ
- 100 99番・グレイ
- 101 100番・グレイ
- 102 101番・グレイ
- 103 102番・グレイ
- 104 103番・グレイ
- 105 104番・グレイ
- 106 105番・グレイ
- 107 106番・グレイ
- 108 107番・グレイ
- 109 108番・グレイ
- 110 109番・グレイ
- 111 110番・グレイ
- 112 111番・グレイ
- 113 112番・グレイ
- 114 113番・グレイ
- 115 114番・グレイ
- 116 115番・グレイ
- 117 116番・グレイ
- 118 117番・グレイ
- 119 118番・グレイ
- 120 119番・グレイ
- 121 120番・グレイ
- 122 121番・グレイ
- 123 122番・グレイ
- 124 123番・グレイ
- 125 124番・グレイ
- 126 125番・グレイ
- 127 126番・グレイ
- 128 127番・グレイ
- 129 128番・グレイ
- 130 129番・グレイ
- 131 130番・グレイ
- 132 131番・グレイ
- 133 132番・グレイ
- 134 133番・グレイ
- 135 134番・グレイ
- 136 135番・グレイ
- 137 136番・グレイ
- 138 137番・グレイ
- 139 138番・グレイ
- 140 139番・グレイ
- 141 140番・グレイ
- 142 141番・グレイ
- 143 142番・グレイ
- 144 143番・グレイ
- 145 144番・グレイ
- 146 145番・グレイ
- 147 146番・グレイ
- 148 147番・グレイ
- 149 148番・グレイ
- 150 149番・グレイ
- 151 150番・グレイ
- 152 151番・グレイ
- 153 152番・グレイ
- 154 153番・グレイ
- 155 154番・グレイ
- 156 155番・グレイ
- 157 156番・グレイ
- 158 157番・グレイ
- 159 158番・グレイ
- 160 159番・グレイ
- 161 160番・グレイ
- 162 161番・グレイ
- 163 162番・グレイ
- 164 163番・グレイ
- 165 164番・グレイ
- 166 165番・グレイ
- 167 166番・グレイ
- 168 167番・グレイ
- 169 168番・グレイ
- 170 169番・グレイ
- 171 170番・グレイ
- 172 171番・グレイ
- 173 172番・グレイ
- 174 173番・グレイ
- 175 174番・グレイ
- 176 175番・グレイ
- 177 176番・グレイ
- 178 177番・グレイ
- 179 178番・グレイ
- 180 179番・グレイ
- 181 180番・グレイ
- 182 181番・グレイ
- 183 182番・グレイ
- 184 183番・グレイ
- 185 184番・グレイ
- 186 185番・グレイ
- 187 186番・グレイ
- 188 187番・グレイ
- 189 188番・グレイ
- 190 189番・グレイ
- 191 190番・グレイ
- 192 191番・グレイ
- 193 192番・グレイ
- 194 193番・グレイ
- 195 194番・グレイ
- 196 195番・グレイ
- 197 196番・グレイ
- 198 197番・グレイ
- 199 198番・グレイ
- 200 199番・グレイ
- 201 200番・グレイ
- 202 201番・グレイ
- 203 202番・グレイ
- 204 203番・グレイ
- 205 204番・グレイ
- 206 205番・グレイ
- 207 206番・グレイ
- 208 207番・グレイ
- 209 208番・グレイ
- 210 209番・グレイ
- 211 210番・グレイ
- 212 211番・グレイ
- 213 212番・グレイ
- 214 213番・グレイ
- 215 214番・グレイ
- 216 215番・グレイ
- 217 216番・グレイ
- 218 217番・グレイ
- 219 218番・グレイ
- 220 219番・グレイ
- 221 220番・グレイ
- 222 221番・グレイ
- 223 222番・グレイ
- 224 223番・グレイ
- 225 224番・グレイ
- 226 225番・グレイ
- 227 226番・グレイ
- 228 227番・グレイ
- 229 228番・グレイ
- 230 229番・グレイ
- 231 230番・グレイ
- 232 231番・グレイ
- 233 232番・グレイ
- 234 233番・グレイ
- 235 234番・グレイ
- 236 235番・グレイ
- 237 236番・グレイ
- 238 237番・グレイ
- 239 238番・グレイ
- 240 239番・グレイ
- 241 240番・グレイ
- 242 241番・グレイ
- 243 242番・グレイ
- 244 243番・グレイ
- 245 244番・グレイ
- 246 245番・グレイ
- 247 246番・グレイ
- 248 247番・グレイ
- 249 248番・グレイ
- 250 249番・グレイ
- 251 250番・グレイ
- 252 251番・グレイ
- 253 252番・グレイ
- 254 253番・グレイ
- 255 254番・グレイ
- 256 255番・グレイ
- 257 256番・グレイ
- 258 257番・グレイ
- 259 258番・グレイ
- 260 259番・グレイ
- 261 260番・グレイ
- 262 261番・グレイ
- 263 262番・グレイ
- 264 263番・グレイ
- 265 264番・グレイ
- 266 265番・グレイ
- 267 266番・グレイ
- 268 267番・グレイ
- 269 268番・グレイ
- 270 269番・グレイ
- 271 270番・グレイ
- 272 271番・グレイ
- 273 272番・グレイ
- 274 273番・グレイ
- 275 274番・グレイ
- 276 275番・グレイ
- 277 276番・グレイ
- 278 277番・グレイ
- 279 278番・グレイ
- 280 279番・グレイ
- 281 280番・グレイ
- 282 281番・グレイ
- 283 282番・グレイ
- 284 283番・グレイ
- 285 284番・グレイ
- 286 285番・グレイ
- 287 286番・グレイ
- 288 287番・グレイ
- 289 288番・グレイ
- 290 289番・グレイ
- 291 290番・グレイ
- 292 291番・グレイ
- 293 292番・グレイ
- 294 293番・グレイ
- 295 294番・グレイ
- 296 295番・グレイ
- 297 296番・グレイ
- 298 297番・グレイ
- 299 298番・グレイ
- 300 299番・グレイ
- 301 300番・グレイ
- 302 301番・グレイ
- 303 302番・グレイ
- 304 303番・グレイ
- 305 304番・グレイ
- 306 305番・グレイ
- 307 306番・グレイ
- 308 307番・グレイ
- 309 308番・グレイ
- 310 309番・グレイ
- 311 310番・グレイ
- 312 311番・グレイ
- 313 312番・グレイ
- 314 313番・グレイ
- 315 314番・グレイ
- 316 315番・グレイ
- 317 316番・グレイ
- 318 317番・グレイ
- 319 318番・グレイ
- 320 319番・グレイ
- 321 320番・グレイ
- 322 321番・グレイ
- 323 322番・グレイ
- 324 323番・グレイ
- 325 324番・グレイ
- 326 325番・グレイ
- 327 326番・グレイ
- 328 327番・グレイ
- 329 328番・グレイ
- 330 329番・グレイ
- 331 330番・グレイ
- 332 331番・グレイ
- 333 332番・グレイ
- 334 333番・グレイ
- 335 334番・グレイ
- 336 335番・グレイ
- 337 336番・グレイ
- 338 337番・グレイ
- 339 338番・グレイ
- 340 339番・グレイ
- 341 340番・グレイ
- 342 341番・グレイ
- 343 342番・グレイ
- 344 343番・グレイ
- 345 344番・グレイ
- 346 345番・グレイ
- 347 346番・グレイ
- 348 347番・グレイ
- 349 348番・グレイ
- 350 349番・グレイ
- 351 350番・グレイ
- 352 351番・グレイ
- 353 352番・グレイ
- 354 353番・グレイ
- 355 354番・グレイ
- 356 355番・グレイ
- 357 356番・グレイ
- 358 357番・グレイ
- 359 358番・グレイ
- 360 359番・グレイ
- 361 360番・グレイ
- 362 361番・グレイ
- 363 362番・グレイ
- 364 363番・グレイ
- 365 364番・グレイ
- 366 365番・グレイ
- 367 366番・グレイ
- 368 367番・グレイ
- 369 368番・グレイ
- 370 369番・グレイ
- 371 370番・グレイ
- 372 371番・グレイ
- 373 372番・グレイ
- 374 373番・グレイ
- 375 374番・グレイ
- 376 375番・グレイ
- 377 376番・グレイ
- 378 377番・グレイ
- 379 378番・グレイ
- 380 379番・グレイ
- 381 380番・グレイ
- 382 381番・グレイ
- 383 382番・グレイ
- 384 383番・グレイ
- 385 384番・グレイ
- 386 385番・グレイ
- 387 386番・グレイ
- 388 387番・グレイ
- 389 388番・グレイ
- 390 389番・グレイ
- 391 390番・グレイ
- 392 391番・グレイ
- 393 392番・グレイ
- 394 393番・グレイ
- 395 394番・グレイ
- 396 395番・グレイ
- 397 396番・グレイ
- 398 397番・グレイ
- 399 398番・グレイ
- 400 399番・グレイ
- 401 400番・グレイ
- 402 401番・グレイ
- 403 402番・グレイ
- 404 403番・グレイ
- 405 404番・グレイ
- 406 405番・グレイ
- 407 406番・グレイ
- 408 407番・グレイ
- 409 408番・グレイ
- 410 409番・グレイ
- 411 410番・グレイ
- 412 411番・グレイ
- 413 412番・グレイ
- 414 413番・グレイ
- 415 414番・グレイ
- 416 415番・グレイ
- 417 416番・グレイ
- 418 417番・グレイ
- 419 418番・グレイ
- 420 419番・グレイ
- 421 420番・グレイ
- 422 421番・グレイ
- 423 422番・グレイ
- 424 423番・グレイ
- 425 424番・グレイ
- 426 425番・グレイ
- 427 426番・グレイ
- 428 427番・グレイ
- 429 428番・グレイ
- 430 429番・グレイ
- 431 430番・グレイ
- 432 431番・グレイ
- 433 432番・グレイ
- 434 433番・グレイ
- 435 434番・グレイ
- 436 435番・グレイ
- 437 436番・グレイ
- 438 437番・グレイ
- 439 438番・グレイ
- 440 439番・グレイ
- 441 440番・グレイ
- 442 441番・グレイ
- 443 442番・グレイ
- 444 443番・グレイ
- 445 444番・グレイ
- 446 445番・グレイ
- 447 446番・グレイ
- 448 447番・グレイ
- 449 448番・グレイ
- 450 449番・グレイ
- 451 450番・グレイ
- 452 451番・グレイ
- 453 452番・グレイ
- 454 453番・グレイ
- 455 454番・グレイ
- 456 455番・グレイ
- 457 456番・グレイ
- 458 457番・グレイ
- 459 458番・グレイ
- 460 459番・グレイ
- 461 460番・グレイ
- 462 461番・グレイ
- 463 462番・グレイ
- 464 463番・グレイ
- 465 464番・グレイ
- 466 465番・グレイ
- 467 466番・グレイ
- 468 467番・グレイ
- 469 468番・グレイ
- 470 469番・グレイ
- 471 470番・グレイ
- 472 471番・グレイ
- 473 472番・グレイ
- 474 473番・グレイ
- 475 474番・グレイ
- 476 475番・グレイ
- 477 476番・グレイ
- 478 477番・グレイ
- 479 478番・グレイ
- 480 479番・グレイ
- 481 480番・グレイ
- 482 481番・グレイ
- 483 482番・グレイ
- 484 483番・グレイ
- 485 484番・グレイ
- 486 485番・グレイ
- 487 486番・グレイ
- 488 487番・グレイ
- 489 488番・グレイ
- 490 489番・グレイ
- 491 490番・グレイ
- 492 491番・グレイ
- 493 492番・グレイ
- 494 493番・グレイ
- 495 494番・グレイ
- 496 495番・グレイ
- 497 496番・グレイ
- 498 497番・グレイ
- 499 498番・グレイ
- 500 499番・グレイ
- 501 500番・グレイ
- 502 501番・グレイ
- 503 502番・グレイ
- 504 503番・グレイ
- 505 504番・グレイ
- 506 505番・グレイ
- 507 506番・グレイ
- 508 507番・グレイ
- 509 508番・グレイ
- 510 509番・グレイ
- 511 510番・グレイ
- 512 511番・グレイ
- 513 512番・グレイ
- 514 513番・グレイ
- 515 514番・グレイ
- 516 515番・グレイ
- 517 516番・グレイ
- 518 517番・グレイ
- 519 518番・グレイ
- 520 519番・グレイ
- 521 520番・グレイ
- 522 521番・グレイ
- 523 522番・グレイ
- 524 523番・グレイ
- 525 524番・グレイ
- 526 525番・グレイ
- 527 526番・グレイ
- 528 527番・グレイ
- 529 528番・グレイ
- 530 529番・グレイ
- 531 530番・グレイ
- 532 531番・グレイ
- 533 532番・グレイ
- 534 533番・グレイ
- 535 534番・グレイ
- 536 535番・グレイ
- 537 536番・グレイ
- 538 537番・グレイ
- 539 538番・グレイ
- 540 539番・グレイ
- 541 540番・グレイ
- 542 541番・グレイ
- 543 542番・グレイ
- 544 543番・グレイ
- 545 544番・グレイ
- 546 545番・グレイ
- 547 546番・グレイ
- 548 547番・グレイ
- 549 548番・グレイ
- 550 549番・グレイ
- 551 550番・グレイ
- 552 551番・グレイ
- 553 552番・グレイ
- 554 553番・グレイ
- 555 554番・グレイ
- 556 555番・グレイ
- 557 556番・グレイ
- 558 557番・グレイ
- 559 558番・グレイ
- 560 559番・グレイ
- 561 560番・グレイ
- 562 561番・グレイ
- 563 562番・グレイ
- 564 563番・グレイ
- 565 564番・グレイ
- 566 565番・グレイ
- 567 566番・グレイ
- 568 567番・グレイ
- 569 568番・グレイ
- 570 569番・グレイ
- 571 570番・グレイ
- 572 571番・グレイ
- 573 572番・グレイ
- 574 573番・グレイ
- 575 574番・グレイ
- 576 575番・グレイ
- 577 576番・グレイ
- 578 577番・グレイ
- 579 578番・グレイ
- 580 579番・グレイ
- 581 580番・グレイ
- 582 581番・グレイ
- 583 582番・グレイ
- 584 583番・グレイ
- 585 584番・グレイ
- 586 585番・グレイ
- 587 586番・グレイ
- 588 587番・グレイ
- 589 588番・グレイ
- 590 589番・グレイ
- 591 590番・グレイ
- 592 591番・グレイ
- 593 592番・グレイ
- 594 593番・グレイ
- 595 594番・グレイ
- 596 595番・グレイ
- 597 596番・グレイ
- 598 597番・グレイ
- 599 598番・グレイ
- 600 599番・グレイ
- 601 600番・グレイ
- 602 601番・グレイ
- 603 602番・グレイ
- 604 603番・グレイ
- 605 604番・グレイ
- 606 605番・グレイ
- 607 606番・グレイ
- 608 607番・グレイ

HGUC「ギャプランTR-5[フライルー]」の全貌公開!



先月号でHGUC化を伝えたギャプランTR-5[フライルー]。ギャプランをベースに、領域支配機としての腰部などが改修されたもの。

今月号ではエアリアルドの2号機

(1号機との外観上の違いはない)も登場して活躍した。

この機体を空山竜司が製作

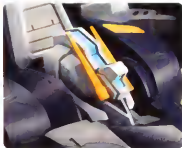
実はこの作例がキットのパッケージ見本にもなっている。

ORX-005 ギャプランTR-5[フライルー]

「ギャプランTR-5[フライルー]」のコアTMA。[フライルー]から大規模な改良、実装入用の強化パーツを付した状態であり、ヘース機となったORX-005をコアTMAの技術支援が提供・改良したカスタム機。この[フライルー]に与えられたカラーリングは「領域支配 (Area Domination) MA」となっており、並列で戦いを進めたいという性格が反映された。さらに、[フライルー]は「TR-5」の改良機ORX-005(パイロット)を装備すること、機動性と攻撃力が強化される。なお、本機を運用するマー・フロー・小隊では、ブレードアンテナが後継された頭部ユニットの形状から「ファイバーガンダム」などの愛称で呼ばれることもあるが、「ファイバー」とは本意を明確に伝えないため、メインパイロットのウェス・マー・フロー・大尉が「フライルー」と名乗る。



フロントアーマーの軍縮装甲の前部にはスプレッドビーム砲が設けられている



頭部はMS形態時のV字アンテナとMA形態時のたんぽん状センサーを差し替えて再読



クローアームの先端にはロングレンジビーム・ライフルが装備可能



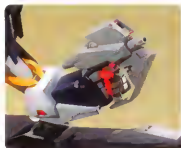
右腕の追加パーツは近接格闘用クローアームになっており、内側には小口径ビーム砲が設けられている。



マルチアーム・ユニットは左右のシールド・ユニットの背面にも装着可能になっている。



増設リアアーマーには、マルチアーム・ユニットが標準装備になっており、作戦に応じて展開される



ロングレンジビーム・ライフルの替装は取り出しのよい小型のものに変更された。キットでは右の銃の振り角がセットされる



ユニットの先端は小型クローアームになっており、様々なオプションを展開させられる。



↑ MA形態に定形させる場合、胴体と胸をつなぐ関節ブロックを直すことになる。



↑ 左側のショルダー・ユニットは、MG MA形態での位置が異なる。キットではアームとユニットの差し替えてそれを再現。



↑ 肩の背アーマーには、元の「HOUGEYプラン」にはなかったアーマー・パーツが追加された。追加装甲を取り付けるための穴があけられ、しなやかなといえるだろう。



↑ 本型はスタンドだけで固定できるが、キットは写真のようにマルチアーム・ユニットでホールドしているように見ることが可能。



↑ MA形態ではディスプレイスタンドに乗ることになるが、ロングレンジビーム・ライフルを写真のように固定してから「ライフル」を取り付ける。

ORX-005 ギャプランTR-5
[フライル]

バンダイ1/144スケールプラスチックキット
「ハイグレードユニバーサルセンチュリー」
ORX-005 ギャプランTR-5 [フライル]
製作 立 空山竜司

A.O.Z.プラモデルの第4弾となる「フライル」が発売となりました。長期にわたりの「TR-5」に関わってきたこともあって、キット化決定と聞いたときは卒業式で生徒を見送る先生の心境がなんとなくあったような気がしました(笑)。

運搬の直行とキット発売日との都合でキットの開発と同時に進行で送ったものが12月号の作例なのですが、スクラッチする際になんとなく誤魔化していたところがキットではキッチリと再構築されており、実質2回目の製作となる今回は、かなり勉強になりました。

またこの作例はパッケージ内の完成品本を兼ねさせてもらっているのですが、本誌の作例用に削り込んだ腰部アンテナを用意した以外は、合わせ目消しとバーベニングライン処理をしただけの、純粋なキットレビューになりました。

とはいえ通常のギャプランに新規のランナーが2枚追加されており、パーツ数もMG並に多いので、かなり作り応えがありました。しかもこれだけ新規パーツが追加されているにもかかわらず、設定おりの(ギャプランの)変形機構はほぼそのまま活かされ、さらにヘイズルのような拡張性を持った差し込み穴が複数箇所あったりして、かなりプレイバリューの高いキットになっています。

基本的に旧ギャプランのパーツをディテールアップする方向で新規パーツが構成されているので、旧キットとのラインの違和感などはほとんど感じませんでした。

特に腰まわりやブースターなどのメカディテールが秀逸で、しっかりスミ入れをしてやれば更にその完成度の高さがわかると思います。

この「フライル [フライル]」はこのままでも十分にカッコいいんですが、本来の姿(?)に戻してやりたい気持ちも湧々と湧いてきておます。いろんな意味で、そんなわけで、今後に期待して下さい!

■PROFILE

そらやま・ちゅうじ 本誌最速(?)のバイカーモデラー。近況「先日、結婚式の二次会で集まった友人とミニ酒会になり、朝まで思い出に花が咲きました。当日は「三日月連環戦線98年勝負」や「SDガンダム4人」で200ターン勝負」など学生ならではの無茶なことをしました(笑)

カラーリングデータ

- 1 脚「ガンダムカラー」・ホワイト(5)
- 2 脚「ガンダムカラー」・ブルー(14)
- 3 脚「ガンダムカラー」・イエロー(5)
- 4 脚「旧機」モンブラン
- 5 グレー「ガンダムカラー」・グレー(23)
- 6 センサー「ガンダムカラー」・ブルー(29)
- ※すべて白(白)のベースの「Mr.カラー」および「ガンダムカラー」を使用。



2006年12月発売 価格 2,520円(税別)
発売元 バンダイホビー事業部

ORX-005
GAPLANT TR-5
[Hrairoot]

「電撃ホビーマガジン2007年1月号」 付録キット[プリムローズ]と HGUCギャプランTR-5[フライルー]の “拡張性”を検証する。

「A.O.Z」のプラモデルは、[フルド]や[プリムローズ]といった「電撃ホビーマガジン」の付録はもとより、[ヘイズル]をはじめとするHGUCシリーズに基盤として楽しむことができる仕様になっている。ここでは、それらの“拡張性”を検証してみよう。

「プリムローズ」の創出ホビードラマ（原作：福田トシオ）、オートの形成自体は手を入らず普通に登場した製作カラーで仕上げられており、下は「プリムローズ」の完成品カラー。こちらも製作は福田トシオが担当している。

カラーリングデータ

- 製作機カラー（白）
ホワイト 60番 グランプリホワイト
ブルー 71番・ミッドナイトブルー 50番+1番・ホワイト 10%
イエロー 5B番 濃黄色 80番+59番・オレンジ 10番+1番・
ホワイト 10%
グレー 8番・シルバー 40番+2番・ブラック 30番+1番・ホワイ
ト 30%
■所収機カラー（黒）
白 35番・純正白黒（三菱系）+1番 ホワイト
※「ガンダムカラー」・「レディ」
※「ガンダムカラー」・イエロー 5
※「ガンダムカラー」・ブルー 23
※「ガンダムカラー」・ブルー 14
※「ガンダムカラー」・グレー 23
※すべてGGIクレタスの「M カラー」および「ガンダムカラー」

※付録の[プリムローズ]は、パーツの差し替えとコクピットユニットへの変形が可能。ビーム・キャノンやミサイルの持ちも、M6形態に換装できるようになっている。

※「プリムローズ」は、ビーム・キャノン用拡張アームを使うことで、キャノンの姿勢を伸縮状態を再現することも可能（本誌の限定では、アームは非掲載）。



「PRIMROSE」の「PRIMROSE」エーノオン

■ HGUC ヘイズル2号機」のバックパックとヒーム キャンパン2門を備えた、火力を強化した第3機体。
 ■ バックパックに「HGUC アドバンス ヘイズル」のツインシールド プースターを装備し、ミサイルボ
 ムと基体同様に格闘力増強の第2機体。
 ■ 「HGUCヘイズル」のバックパックと2006年2月号付録の「フルード」を組み合わせた第4機体。
 コアブースター-高価仕様



必要なパーツは以下のとおり

- 1 商品名「プラモガジン」2007年1月号付録「アムロ」の本体×1
- 2 新しく「アムロ」のヒーム キャンパン×2
- 3 2006年2月号付録「フルード」の基体×1
- 4 HGUCヘイズル2号機のバックパック×1
- 5 HGUCヘイズル2号機のブースターユニット×1 両
- 6 HGUCフライングのサブアームユニット×2

以上を併せてイラストと照準の「PRIMROSE」が再現可能



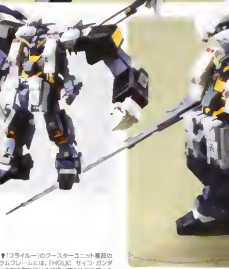
●ドラムフレームの軸と「サイコ」ガン
 ダムの軸は同じになっている。ただし
 パーツの形状を合わせるため、ドラムフレーム
 の軸は削られているので、軸を交換するなど
 で調整させておくといいたろう



●本機「PRIMROSE」は、「アムロ」の「コア
 ブースター」で、ヒーム キャンパンの軸が
 再現されている。左
 の写真は「アムロ」の「コア
 ブースター」の「バックパック」を取り付
 けた状態で、ヒーム キャンパンの軸を
 再現したものの。



●サブアームユニットは、軸の組み方(左)
 が正しい。この軸の組み方を再現する
 ためには、両側のサブアームパーツの軸
 の向きが必要



●「フライング」のブースターユニット基体の
 ドラムフレームには、「サイコ」ガン
 ダムの軸を固定する機構が組み込まれて
 いる。これは「ガンダム」の「サイコ」ガン
 ダムを再現するためのもの。本機「PRIMROSE」には、こ
 の機構を備えたイラストも掲載されている

●こちらにも、本機にイラストで掲載されているヘイズル2号機の「PRIMROSE」の
 「バックパック」を再現した。本機「PRIMROSE」の「バックパック」の軸は、
 「フルード」の「バックパック」の軸と同じ。左の写真は、本機「PRIMROSE」の「バック
 パック」の軸を再現したものの。右の写真は、本機「PRIMROSE」の「バック
 パック」の軸を再現したものの。

ガブリエル・ゾラ専用のカスタマイズされた リック・ディアスを作る

今月号の本編に登場したガブリエル・ゾラ専用
カスタマイズされたリック・ディアス。
「A.O.Z」を序盤から呼んでいる読者なら、
その名前からも判るとおり、かつてのゾラの愛機、
リック・ドム[シュトゥッツァー]の流れを汲んだ機体となっている。
このカスタマイズリック・ディアスを中村圭が製作した。

MSA 099 リック・ディアス シュトゥッツァー

アナハイム・エレクトロニクス社が、ガブリエル・ゾラのリック・ディアス用に試作した増加装備。ゾラによってもたらされた[ヘイズル]の戦闘データをもとに設計が行われた。その名のとおり、ゾラがエゥーゴに所属する以前の変機、リック・ドム[シュトゥッツァー]をモデルとした装備だが、当時のゾラたちが、ありあわせで作ったものとは異なり、新規に設計が行われている。また、当時のシュトゥッツァーは、連邦軍(ティターンズ)の最新MSに対抗するための苦肉の策だったこともあり、MSに機動性を求めるゾラにとって、その重量増は不利だったようだ。

MSA-099 リック・ディアス [シュトゥッツナー]

バンダイ/1/144スケールプラスチックキット
'ハイグレードユニバーサルセンチュリー'
RMS-099 リック・ディアス改造
製作・文 中村圭

どうもお久しぶりの中村です。別冊「ガンダムプロファイル MGガンダムF91 編」好評発売中)を挟んで8月号以来の本誌は、なんと新刊8周年記念号。しかも、通巻100号も間近で、いわゆる「基と正月が一緒に来た」感じ、とにかくめでたし。さて、今月は「リック・ディアス[シュトゥッツナー]」(言いづらい)。以前 A.O.Z. に登場した「リック・ドム[シュトゥッツナー]」とユニット構成を同じくした、シュトゥッツナー・パワーアップバージョン(ヤツ! 高いじゃない?)!!

しかし、あくまでもユニット構成が同じなだけで、そのデザインは別物(さすがは A.O.Z.)。スクラップするのにも、毎度気を使わなければならない密度の濃さ。たださえ、己の技量が試されるスクラップにおいて、今回の資料は、最終ラフ設定段階のみということ。不明な箇所は複数ラフから自分なりの答えを導き出して立体化。まるで造形センスまで問われているようで、ちょっと怖い作業でした。

さて、実作業ですが、追加装備はいつもとおりエポバテとプラ材から。リック・ディアス本体も、以前作ったヘイズル・ラーと同様の理由で、腰・ヒザ関節、足首の3箇所を少しずつ延長してあります。

なお、本来なら設定上、ある装備を装着している予定なのですが、今回は時間の都合でパス。正式設定が発表されて以後、再登場時にお見せできるはずなので楽しみに。

■PROFILE

なまむい・けい・プラ造形加工にこだわりを持つ職人肌。近頃、R3のキャリアの形状試作を見ました。ディテールはともかく、プロポーションはもう少し設定どおりのほうがいいな〜。



胸まわりに付けられた増加装甲ユニット。正副造作者にはミサイルボットが装着されている



1/400

戦闘には、モノアイを揺るがために専用のフェイスガードパーツが装着されている。ガンダムのようなツインアイとアゴが最大の特色



動き機動時に機体を安定させるためのスタビライザーが背面に付けられた



カラーリングデータ

- 1 グレー(薄) 2 黒・ブラック+87番・パープル 3 黒・ホワイト
- 4 グレー(濃) 7 青 8 ミッドナイトブルー
- 9 ライトブルー 1 赤・赤・ホワイト
- 2 黒・ミディアムブルー+87番・パープル
- 4 赤 1 8 黒・スーパーバイタリオンレッド
- 8 ウイング ユニット 2 黒・ブラック+87番・シルバー
- ※すべて8000レオスの[1/44カラー]

かつてのゾラの機體に装着されたものを改造とさせるウイングユニット。様々なオプションを創出できるようになっている



エコーゴの機體に共通するウイングバンインターは、ミサイルボットを兼ねたものになっている。



電撃ホビーマガジンスペシャル
ADVANCE OF Z
アドバンス・オブ・Z
 ティターンズの旗のもとに
Vol.5

STAFF

編集: 坂原宏樹、電撃ホビーマガジン編集部
 編集協力: 片岡大輔 (アークライト)
 アートディレクター: CREATIVE STATION BEE-PEE (北玉真吾)
 表紙・デザイン: DTP・CREATIVE STATION BEE-PEE (永田雄之、SOKURA)

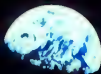
撮影: I-CRAFT
 協力: 株式会社サンライズ・ライツ事業部
 株式会社バンダイ・ホビー事業部

発行: 2007年3月5日 初版発行

発行人: 渡部雅人
 編集人: 佐藤忠博
 発行所: 株式会社メディアワークス
 〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館
 電話 03-5281-5236 (編集)

発売元: 株式会社角川グループパブリッシング
 〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
 電話 03-3238-8528 (営業)

印刷・製本: 凸版印刷株式会社



【アンケートご協力お願い】

本誌をとおきになってどんな感想をお持ちになりましたか? アンケートにご協力ください。以下のようなまたはQRコード(黄緑カメフラ)で、小冊アンケートページへとアクセスできます。アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で年1回100名の方に記念品を差し上げます。なお、当雑誌の掲載は記名無名の転送を持って貰えさせていただきます。

<http://www.mediaworks.co.jp/special/HOBBY/mook/>

※ご記入いただいたお客様の個人情報は、記事等の発行に利用するほか、当社グループ各社の商品やサービスのご案内などに利用させていただきます。また、個人情報を提供できないIPで統計処理をした上で、当社グループ各社の商品企画やサービス向上に役立てるほか、第三者に提供することがあります。



3760

本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2392)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替えします。

ISBN978-4-8402-3760-2 C9476
 雑誌64883-94



Vol. 4



Vol. 3



Vol. 2



Vol. 1

定価 360円
 「Zエンゲルム」本誌と併行する時代に入、ロ
 ザイバ-が登場。

定価 360円
 「Zエンゲルム」本誌と併行する時代に入、ロ
 ザイバ-が登場。

定価 360円
 「Zエンゲルム」本誌と併行する時代に入、ロ
 ザイバ-が登場。

定価 360円
 「Zエンゲルム」本誌と併行する時代に入、ロ
 ザイバ-が登場。



RX-121-2
GUNDAM TR-1
[HAZEL OWSLA]
-ANNIVERSARY MODEL-

1/100 scale scratch build
modeled by Ryuji Sorayama & Mitsuaki Misaki
color coordinated by Kenki Fujioka

サンライズ × 電撃ホビーマガジン共同企画

—アドバンス・オブ・Z—
ADVANCE OF
ティターンズの旗のもとに

電撃コミックス

原作◆富野由悠季・矢立肇
作画◆みずきたつ

ガンダム 迫力のコミカライズ!!

連邦のエリート集団「ティターンズ」に配属された若き士官・エカアルド。

彼は、伝説の「ガンダム」の名を冠したモビルスーツ、そして信じている

仲間とともに戦いをもつて戦っていた。そこに正義があると信じて

① ② ③ 好評発売中!!

全ガンダムを美麗な写真&詳細な解説付きで収録

ガンダム大全集2007

GUNDAM PLASTIC MODEL CATALOGUE 2007

2月28日発売予定!! (A4変形 280ページ 予約2,940円)

過去3年分の新作キットを加えて大ボリュームアップ! ガンダム誕生より28年
これまでに発売された720体以上のガンダムを網羅した超完全保存版!!

MediaWorks 発売: Xメディアワークス 発売: 角川グループパブリッシング

www.media-works.co.jp/ 電撃ホビーマガジンサイト 電撃 電撃オンライン 電撃コミックス
www.dengeki-online.com/ 電撃のゲーム情報サイト 電撃のゲームニュースをリアルタイムで配信

書店・予約は税込(5%)です。
の郵送エージェンシー・サンライズ

4月21日
全国ロードショー

電撃ホビーマガジンにて展開中!!

ADVANCE OF Z

THE FLAG OF TITANS

Illustration by Kenji Ogata



装備や各部パーツを組み替えて、A.O.Z (アドバンス オブ ゼータ) に登場するモビルスーツを再現しよう!



No. 073
「チャールン TR-5」HG
【ライフル】HG
価格 2,520円 (税5%)



No. 056
「ガンダム TR-1」HG
【ヘイズル改】HG
価格 1,365円 (税5%)



No. 05
「ガンダム TR-1」HG
【アドバンス・ヘイズル】HG
価格 1,680円 (税5%)



No. 069
「ガンダム TR-1」HG
【ヘイズル改】HG
価格 1,575円 (税5%)



No. 074
「ジム・クウエル」HG
価格 1,260円 (税5%)



No. 030
「ガンダム Mk-II」HG
【ティターンズ】HG
価格 1,050円 (税5%)



A+B or C

B+C



C+D



D+E

D+E or F

この他にも自由な組み合わせで
君だけのモビルスーツを作りだそう!



1/144 ガンプラ HGUC「ギャプランTR-5[フライル]」の作例を含むTR-5編集集編!!

電撃ホビーマガジンスペシャル

THE FLAG OF TITANS Vol.5

DENGEKI HOBBY MAGAZINE SPECIAL

ADVANCE OF Z

アドバンス・オブ・Z

～ティターンズの旗のもとに～

ADVANCE OF Z

ティターンズの旗のもとに

Vol.5





ADVANCE OF Z
THE FLAG OF TITANS Vol.5



ISBN978 4-8402-3780-2
C9476 ¥840E

雑誌 B4683-94

 **MediaWorks**

発行 ● メディアワークス

©Media Works 2007

印刷 凸版印刷株式会社 Printed in Japan

©新進エージェンシー サンライズ

定価: 本体 **840円**

●消費税が別に加算されます

